

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和2年度分「一部、令和3年度分を含む」)

静岡県立浜北特別支援学校

## 目

## 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	17
3	学校施設の概要	18
4	在籍生徒調	20
5	入学志願者及び入学者数調	22
6	卒業生の動向調	23
7	生徒の状況	24
8	預金調	26
9	郵券等受払調	27
10	材料品受払調	27
11	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	28
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	29
13	委託料に関する調	30
14	補助金支出調	35
15	負担金支出調	37
16	建築工事調	38
17	公有財産調	40
18	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	41
19	行政財産貸付・使用許可調	42
20	主要備品調	43
21	生産物受払調	44
22	職員調	71
23	職員の年齢調	77
24	健康管理	78

# 事務事業の概要

## 1 概況

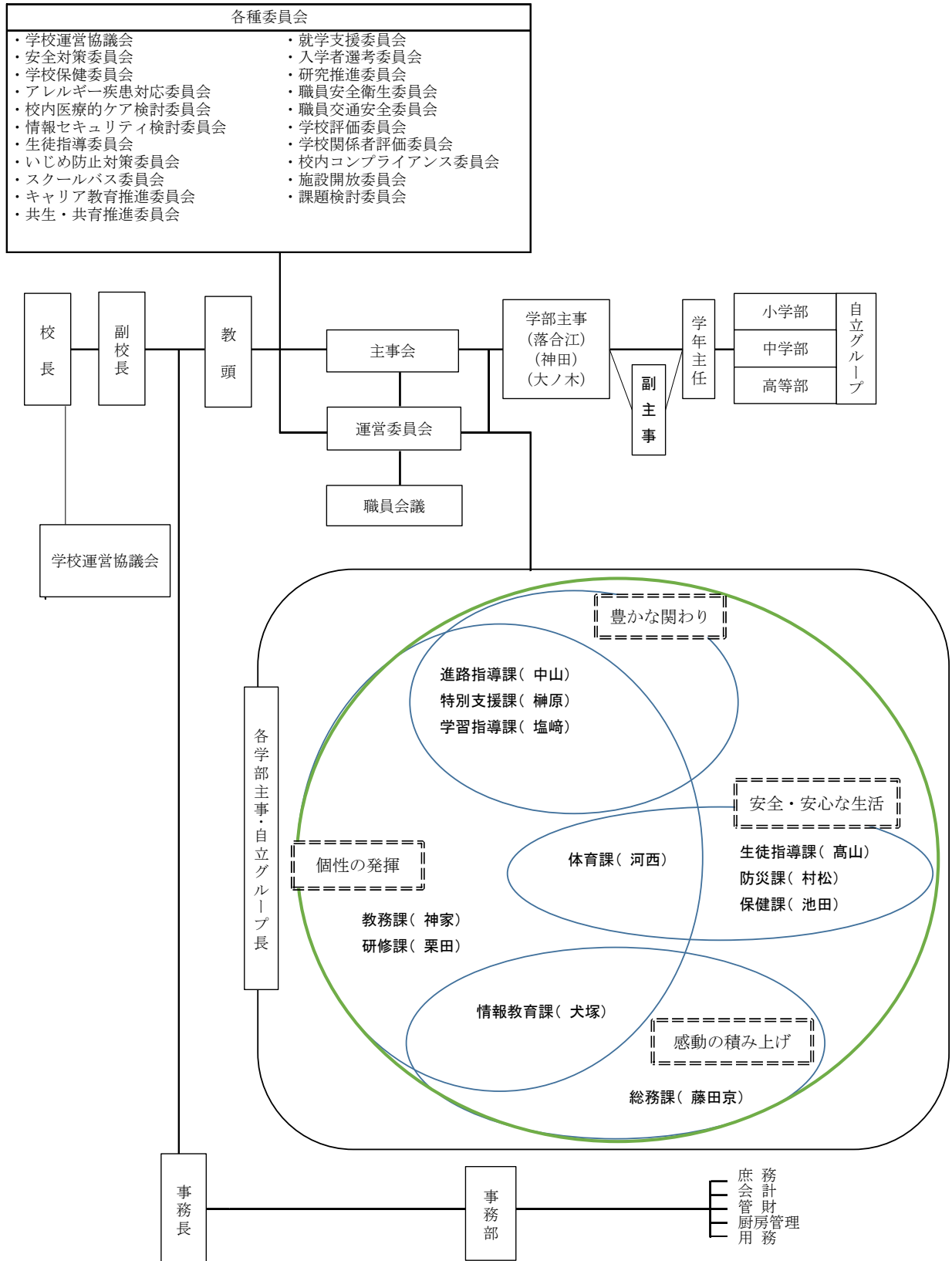
### (1) 学校の沿革

平成 13 年 8 月 29 日	第一回浜北市立養護学校県立移管準備委員会開催
平成 16 年 3 月 26 日	浜北市立養護学校県立移管準備委員会「最終報告(案)」策定
平成 17 年 9 月 15 日	県教育委員会定例会において、県立移管に関わる校地を浜北市中瀬地区に選定し、開校年度を平成 21 年 4 月予定と発表
平成 17 年 11 月 18 日	浜北養護学校県立移管地元説明会開催
平成 17 年 12 月 6 日	浜北養護学校県立移管地質調査地元説明会実施 (調査期間 平成 17 年 11 月 25 日～平成 18 年 1 月 31 日)
平成 18 年 3 月 17 日	2 月県議会にて平成 18 年度当初予算に基本設計費を計上
平成 19 年 5 月 28 日	県立浜北養護学校(仮称)整備事業地元説明会実施
平成 20 年 1 月 29 日	県教育委員会定例会において、静岡県立特別支援学校学則の一部改正
平成 20 年 3 月 25 日	県議会にて県立学校設置条例を改正。名称を「静岡県立浜北特別支援学校」とすることを可決
平成 20 年 4 月 1 日	浜松市立浜北養護学校県立移管及び静岡県立浜北特別支援学校設置準備委員会設置
平成 20 年 5 月 12 日	静岡県立浜北特別支援学校 起工式
平成 21 年 4 月 1 日	静岡県立浜北特別支援学校 開校
平成 21 年 4 月 9 日	第 1 回入学式(小学部 18 人、中学部 16 人、高等部 33 人入学)
平成 21 年 4 月 10 日	静岡県立浜北特別支援学校 開校式(児童生徒数 146 人)
平成 22 年 3 月 18 日	第 1 回小学部、中学部卒業式(小学部 9 人、中学部 15 人卒業)
平成 22 年 4 月 1 日	スクールバス 1 台増車(委託)計 3 台で運行
平成 23 年 3 月 15 日	空調設備工事完成(小中学部棟 4 教室)
平成 23 年 12 月 13 日	空調設備工事完成(小中学部棟 8 教室)
平成 24 年 3 月 7 日	第 1 回高等部卒業式(34 人卒業)
平成 24 年 4 月 1 日	スクールバス 1 台増車(委託)計 4 台で運行
平成 26 年 3 月 28 日	災害用仮設トイレ設置工事完成
平成 26 年 4 月 1 日	スクールバス 1 台増車(委託)計 5 台で運行
平成 27 年 2 月 13 日	蓄電池付太陽光発電設備工事完成
平成 29 年 2 月 28 日	空調設備工事完成(職員室)
平成 30 年 11 月 23 日	創立 10 周年記念式典
平成 31 年 4 月 26 日	空調設備工事完成(小中高等学部棟 28 教室)
令和 3 年 4 月 1 日	静岡県立浜北特別支援学校、静岡県立浜松特別支援学校、静岡県立浜名特別支援学校の通学区域の一部を分離し、静岡県立浜松みをつくし特別支援学校開校 スクールバス 2 台減車(委託)計 3 台で運行

【参考：浜北市立養護学校の沿革】

昭和 48 年 4 月 1 日	浜北市立養護学校設置許可（浜北市全域を学区とする）
昭和 48 年 8 月 31 日	浜北市本沢合に新校舎竣工（工事期間：昭和 49 年 3 月～8 月）
昭和 48 年 9 月 10 日	旧校舎（貴布祢）より新校舎（本沢合）へ移転
昭和 52 年 10 月 6 日	運動場拡張工事完成
昭和 55 年 3 月 10 日	校舎増築工事竣工
昭和 62 年 8 月 28 日	プール落成式を挙げる
平成 17 年 4 月 1 日	学校名を「浜北市立浜北養護学校」に変更
平成 17 年 7 月 1 日	12 市町村合併により学校名が「浜松市立浜北養護学校」となる
平成 21 年 3 月 21 日	閉校式を挙げる

(2) 組織図



## 2 目指す学校像

### (1) 教育目標

児童生徒一人一人が個性を発揮（輝き）し、仲間や地域の「人・もの・こと」との豊かな関わり（絆）を築き、達成感・喜び（感動）を積み上げる教育を通して、「地域で主体的に生き、行動し、生活し、働き、楽しむ（自立）」ことができる人を育てる。

スローガン [ 友と輝き 地域に生きる（自立） ]		
輝き（個性の発揮）	絆（豊かな関わり）	感動（達成感・喜び）

### (2) 目指す学校像

- ①児童生徒が主体的に学び、個性を發揮する学校
- ②児童生徒が心身共に健康で、安全・安心に生活する学校
- ③保護者や地域と連携し、信頼され豊かに関わる学校
- ④教職員の意欲と笑顔があふれ、感動を積み上げる教育活動ができる学校

### (3) 目標具現化の柱

- ア 個性を生かし確かな成長を感じられる教育活動を進める。  
 <教育課程、授業づくり、個別の指導計画、ICT教育>
- イ 具体的な将来像をより明確にした地域で生きる力を培う。  
 <進路指導、キャリア教育、小中高一貫、個別の教育支援計画>
- ウ お互いが人を大切にして、笑顔に満ち溢れた学校生活を実現する。  
 <生徒指導、人権教育、道徳指導>
- エ 明確で実務的な危機管理、安全管理体制を整備する。  
 <防災・防犯体制、防災教育、健康・安全教育、安全管理体制>
- オ 地域とネットワークでつながり、共生社会の実現を目指す。  
 <地域とつながる活動、交流、理解啓発>
- カ 業務の精選と適正化をはかり、感動につながる教育活動を活性化する。  
 <環境整備、データ・資料の管理、業務適正化、自己研修、組織マネジメント>

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和2年度の取組目標への評価及び成果と課題

A：十分目標を達成できた B：おおむね目標を達成できた

C：あまり目標を達成できなかった

※ゴシック体で表記された項目は令和2年度の重点項目（以下の項目も同様）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果○と課題△
ア	<b>児童生徒、教職員、保護者等が確かな成長を感じられる教育活動を進める。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が達成感・喜び（感動）を感じられる授業づくりを行った教員100%</li> <li>・必要な実態把握をし、児童生徒のニーズを理解した教員100%</li> <li>・知肢、異年齢等も含め、目的を明確にしお互いが成長し合えるグルーピングの工夫。</li> <li>・授業づくりや研修等を通して、自身の成長を感じられた教員100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が達成感・喜び（感動）を感じられる授業づくりを行った教員(87.6%)</li> <li>・必要な実態把握をし、児童生徒のニーズを理解した教員(96.6%)</li> <li>・知肢、異年齢等も含め、目的を明確にしお互いが成長し合えるグルーピングの工夫。(95.1%)</li> <li>・授業づくりや研修等を通して、自身の成長を感じられた教員(98.4%)</li> </ul>	A	<p>○根拠ある教育活動のために、教務課を中心とした学習会(学習指導要領・自立活動学習)を行い、意識化と理解度が増した。</p> <p>○児童生徒が「これなら、がんばれそうだ。」と思える課題の設定と、見える形の評価を工夫したことで、生徒が自ら熱心に取り組む姿が多く見られた。</p> <p>△コロナ禍において感染症対策をしながらの授業を行ってきたが、さらに授業内容や形態を工夫して達成感や喜びを感じられる授業を行っていく。</p>

イ	<p>お互いが人を大切にして、笑顔に満ち溢れた学校生活を実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学部のルールやマナーを理解し、児童生徒の見本となるモラルを自ら実践した教員 100%</li> <li>道徳の観点を教育活動に盛り込んで実践した教員 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学部のルールやマナーを理解し、児童生徒の見本となるモラルを自ら実践した教員 (78.2%)</li> <li>道徳の観点を教育活動に盛り込んで実践した教員 (76.3%)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○できたことへの喜びや、失敗したり困ったりした友達に励ましの言葉を掛けるなど、自分も相手も認めながら活動する姿が見られた。</li> <li>○高等部の学部集会では、生徒会執行部が中心となり、高等部のルールをお互いに確認した。</li> <li>△教師自らが自分の言動に自覚と責任を持ち、さらに、教育活動全体に道徳の観点を盛り込んでいく。</li> </ul>
ウ	<p>社会に開かれた教育課程の編成を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年計を、キャリア教育と学習指導要領の観点で見直し、改善することができた教員 100%</li> <li>校外学習の小中高等部の系統性の確認。</li> <li>有意義な交流を行い、児童生徒の成長につながったと答える児童生徒教員 80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年計を、キャリア教育と学習指導要領の観点で見直し、改善することができた教員 (88.4%)</li> <li>校外学習の小中高等部の系統性の確認。</li> <li>有意義な交流を行い、児童生徒の成長につながったと答える児童生徒教員 (100%)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高等部で「私たちの製品(作業)で地域を明るくします」をテーマに作業学習や展示販売活動、地域清掃活動に主体的に取り組む姿が見られた。</li> <li>○学校間交流では、直接会うことができなかつた分、より相手の状況や気持ちを思いやりながらの交流となり、お互いの学校にとって良い交流となった。</li> <li>△交流の在り方を検討しながら、新たな繋がりを広げていく。</li> </ul>
エ	<p>教職員、保護者、地域の一人一人が明確で実際的な危機管理・安全対応ができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理・安全対応を組織の中で自分の役割に取り組んだ教職員 100%</li> <li>児童生徒への防災教育を行った教員 100%</li> <li>引き渡し訓練がスムーズにできた保護者 100%</li> <li>防災バッグを期限内に準備できた保護者 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理・安全対応を組織の中で自分の役割に取り組んだ教員 (87.8%)</li> <li>児童生徒への防災教育を行った教員 (99.4%)</li> <li>引き渡し訓練がスムーズにできた保護者 (99.5%)</li> <li>防災バッグを期限内に準備できた保護者 (81.5%)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学部では、ヘルメットをかぶれるようになった。「おはしも」の約束が分かった。中学部では、放送を静かに聞き「おはしも」の約束を守って落ち着いて避難できた。高等部では、SHR で大雨や台風等の災害、防災訓練では火事や地震についての防災対策、保健体育の授業や特別活動等では、熱中症や感染症の基本的な予防策に取り組み、訓練や授業においてお互いに声を掛け合う姿が見られた。自立グループでは、避難訓練において抵抗感が減り、落ち着いて参加できた。</li> <li>△コロナ禍において、災害への取り組みは感染症対策が中心となった。防災(災害)に向けて、地域や関係機関を含め一緒に取り組んでいく。</li> </ul>

オ	児童生徒と保護者が地域に生きる具体的な将来像の実現をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に生きるために、家庭や地域でできることを、保護者や児童生徒と具体的に話し合ったり、必要に応じて関係機関と連携したりした教員 100%</li> <li>・キャリアシートをもとに、個人の生活年齢と特性を考慮して、段階をおさえた指導をした教員 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に生きるために、家庭や地域でできることを、保護者や児童生徒と具体的に話し合ったり、必要に応じて関係機関と連携したりした教員 <u>(93.6%)</u></li> <li>・キャリアシートをもとに、個人の生活年齢と特性を考慮して、段階をおさえた指導をした教員 <u>(71.1%)</u></li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の強みや課題を関係諸機関で共有して学習に反映したことで、多くの生徒が適切な言葉遣いやマナー、学習に取り組む姿勢等、日々の学校生活に変化が見られた。</li> <li>○産業現場等における実習に向けての目標の具現化と生徒への意識付け、事後の成果や課題を保護者と共有し今後の学習に生かした。</li> <li>△児童生徒の将来の姿を見据えながら、段階を押さえた具体的な指導につなげるために、浜北キャリアシートを保護者と共有していく。</li> </ul>
カ	<b>教育活動の活性化と精選を進め、業務の適正化をはかる。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが分かりやすいデータ、資料の整理・作成</li> <li>・誰もが使いやすい環境づくり。</li> <li>・決裁処理の簡素化</li> <li>・月 45 時間の残業時間を超えずに業務に取り組んだ教職員 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが分かりやすいデータ、資料の整理・作成 <u>(90.7%)</u></li> <li>・誰もが使いやすい環境づくり。 <u>(93.4%)</u></li> <li>・決裁処理の簡素化 <u>(85.7%)</u></li> <li>・月 45 時間の残業時間を超えずに業務に取り組んだ教職員 <u>(83%)</u></li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究課題に迫るために、整理した単元カード等を使用することで教師間の共通理解がとれ、授業づくりに活かした。</li> <li>○日常的な整理整頓と配置の工夫、ラベリング、マッピングの実施により、誰もが使いやすくなった。</li> <li>△勤務時間管理をもっと意識付けできるようにするとともに業務内容を一人で抱えず学年や分掌課で分担していきたい。</li> </ul>

(2) 令和3年度を取組目標・達成方法・成果目標

※ゴシック体で表記された項目は令和3年度の重点項目。(以下の項目も同様)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	<b>個性を生かし確かな成長を感じられる教育活動を進める。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に基づいた教育課程の編成</li> <li>・根拠があり個性を生かす個別の指導計画の作成と実践</li> <li>・達成感・喜びのある学びを目指す授業づくり</li> <li>・主体的に取り組めるICT教育の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効な学習グループ編成、系統性を踏まえた年間指導計画の見直しができたと感じる教員 100%</li> <li>・児童生徒が一人一人の個性を生かし、成長できたと感じる教員、保護者 100%</li> <li>・達成感・喜びのある授業を実施した教員 100%</li> <li>・ICT活用による学習を実施した学年 100%</li> </ul>	教務課 学習指導課 体育課 研修課 情報教育課 各学部
イ	具体的な将来像をより明確にした地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画をもとにした将来像の明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生きる将来像に向けて、関係機関を交えて</li> </ul>	進路指導課 特別支援課



	域で生きる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活年齢を押さえた段階的な進路指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討した保護者、教員 100%</li> <li>キャリアシートを生かし、生活年齢に応じた力をつけた児童生徒 100%</li> </ul>	各学部
ウ	お互いが人を大切にして、笑顔に満ち溢れた学校生活を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他を大切にする生徒指導</li> <li>校内外で豊かな関わりのできる実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら笑顔であいさつができた児童生徒、教員 100%</li> <li>重大ないじめ 0</li> <li>家族、友達や地域のために行動できるようになった児童生徒 100%</li> </ul>	生徒指導課 各学部
エ	明確で実地的な危機管理・安全体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化した危機管理</li> <li>安全体制づくり</li> <li>主体的に取り組む、防災</li> <li>健康・安全教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重大な事故 0</li> <li>実地的な想定での訓練で主体的に行動できた教職員 100%</li> <li>防災体制に協力できた保護者 100%</li> <li>自分の命や健康を自分で守るための取組ができた児童生徒 100%</li> </ul>	防災課 保健課 体育課 生徒指導課 各学部
オ	<b>地域とネットワークでつながり、共生社会の実現を目指す。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を生かし、絆を深める教育活動</li> <li>共生社会の担い手を目指す交流及び共同学習</li> <li>関係機関とつながる理解啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の「人・もの・こと」とつながった新しい生活様式を踏まえた取組を実現した学年 100%</li> <li>双方の成長を促した交流活動ができたと感じる教員、保護者、相手校 100%</li> <li>教育、就労、医療、福祉機関と協働的につながったと感じる教員 100%</li> </ul>	特別支援課 進路指導課 学習指導課 各学部
カ	業務の精選と適正化をはかり、感動につながる教育活動を活性化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化と連携を促す組織づくり</li> <li>感動を積み上げる自己研修の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの人の業務適正化に貢献したと感じる教職員 100%</li> <li>効率化により、感動につながる教育活動を生み出す自己研修ができた教員 100%</li> </ul>	総務課 情報教育課 事務部 各学部

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題 (3年度は進捗状況)
2	1 知肢併置校としての指導の充実 ・知的障害3学部と、肢体不自由児学級の4つの研究グループに分かれて、授業改善に取り組む。  2 安全で安心な学校体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルによる授業改善に取り組み、指導のねらいを明確にした支援を行い、児童生徒の成長につなげた。</li> <li>昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、外部指導者の招聘を見送ったが、eラーニング等を活用した研修に取り組み授業改善に生かすことができた。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアの緊急時の対応や、災害時の対応など各種訓練を実施しながら、効果的な組織体制を検討し、常に危機管理マニュアルの改善を図る。</li> </ul> <p>3 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケヤキの会や、かやの木ボランティア等との交流や授業支援を継続する。絵本の読み聞かせや花の苗植え交流、中学部作業学習への授業支援等を受ける。</li> <li>・学部ごと、近隣の小・中・高等学校との交流を実施する。希望者については、交流籍校における交流及び共同学習を実施する。</li> <li>・高等部の作業製品販売を地域の店舗で実施する。</li> <li>・高等部サービス班での地域貢献活動を実施する。</li> <li>・児童生徒の関係諸機関との情報交換会や支援会議を実施する。</li> </ul> <p>4 効果的で効率的な業務の遂行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日を定時退勤日として、17</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、地震共に実際の場面を想定しながら訓練を実施した。肢体不自由児童生徒の訓練を行う中で、教職員が実際の場面を想定し、避難経路や避難方法を考えて行動したことで、教職員の危機管理意識が高くなった。また、肢体不自由児童生徒の避難方法を改善するために教室配置について検討し、令和3年度からの教室配置を1階とした。</li> <li>・開校より10年以上継続してきている交流や地域との連携であるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が流行した関係でほとんどの活動を中止せざるを得なかった。しかし、コロナ禍でも、どのような交流ができるかお互いに考え、工夫した。読み聞かせをビデオ撮影し実施したり、花の苗交流では、地域で用意していただいた苗や花壇を生徒が育て管理したりする交流ができた。今後は、学校に来ていただく交流から、地域に出ていく交流に広げていく。</li> <li>・学校間交流については、新型コロナウイルス感染症対策のため、直接的に児童生徒が関わって交流する内容から、小学部、中学部では、手紙やビデオレターでの交流、高等部では、Zoomでのやり取りやお互いの学校へ作業製品や美術作品の展示をするなどの間接的な交流を工夫することができた。児童生徒が互いの頑張り認め合うことができ、学校間の理解が深まった。交流籍との交流については、新型コロナウイルス感染症対策からビデオレターや手紙のやり取りが中心の間接交流に切り替え実施する件数が多くあった。直接交流15件、間接交流37件の交流籍交流を実施することができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、予定していた地域の店舗での販売会は中止した。代替案として地域のコミュニティセンター等で作業展示会を実施し、購入希望者から注文を受ける注文販売を実施した。コロナ禍であっても、工夫して地域販売会を実施することができた。</li> <li>・サービス班による地域清掃活動が定着してきている中、近隣の施設や公共の駅の清掃を行った。生徒の地域に貢献する意識が高まり地域の活動の幅が広がってきている。</li> <li>・1学期は、新型コロナウイルス感染症対策のため、外部機関との支援会議を自粛した。2学期以降は必要に応じ順次支援会議を再開した。多様化する児童生徒の実態、家庭環境の中、各機関が各々役割を果たすことは重要であり、児童生徒個々のケースに対して丁寧な支援を行うことができた。</li> <li>・定時退勤日は、17時半、その他の日の19時退</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>時半施錠とする。それ以外の日は19時までには施錠する。施錠時間以降に業務を行う場合は、申告制とし、終了時刻を自分で決め、計画的に業務を遂行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種会議は、原則1時間以内とし、速やかな進行や内容を精査する。</li> </ul>	<p>勤も定着している。教職員一人ひとりが勤務時間を意識した業務の遂行を心掛けることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間を設定することによって、ほとんどの会議は1時間以内に終了することができた。内容を精査したことで分掌会等会議の回数を減らすこともできた。</li> </ul>
年度	取組概要	成果及び課題 (3年度は進捗状況)
3	<p>1 個性を生かして確かな成長を感じられる教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知的障害3学部と、肢体不自由児学級の4つの研究グループに分かれて、授業改善に取り組む。</li> </ul> <p>2 安全で安心な学校体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が自分の命や健康を自分で守るための取組ができる授業作りに取り組む。</li> <li>多様な災害に対応できる緊急時訓練を実施しながら、常に危機管理マニュアルの改善を図る。</li> <li>事故、怪我等の削減に向けヒヤリハットの事例を作成し、共有することで、再発を防止する。</li> </ul> <p>3 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浜北女性の会やケヤキの会、読み聞かせボランティア等との交流や授業支援を継続する。絵本の読み聞かせや花の苗植えを一緒に行う。</li> <li>地域を活用した学習として、高等部の作業製品販売、児童生徒の作品展や作業製品展示会を地域の店舗で実施する。</li> <li>学校運営協議会制度を活用し地域との連携・協働を推進する。高等部交通安全運動や環境美化運動への協働活動を実施する。</li> <li>保護者の希望により、交流籍を活用した交流及び共同学習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の「確かな学びの姿」を実現するためにPDCAサイクルによる授業改善に取り組んでいる。研修グループごと外部助言者による研究授業を年2回計画している。 また、基礎基本研修として静岡大学より講師を招き、ラーニングマップの活用について研修に取り組み職員一人一人の専門性を高め、授業改善への取り組みを進めている。</li> <li>水害被害を想定した避難訓練を実施した。また、火災時の煙避難、地震時の負傷者救出、運動場の液状化を想定した保護者引き渡しなど様々な訓練を実施した。毎回の訓練で児童生徒が事前事後学習に取り組む中で自分の命を守る気持ちが育ってきている。</li> <li>肢体不自由児童生徒の教室配置をすべて校舎1階にし、より安全な避難経路を確保した。</li> <li>ヒヤリハットの事例を分析し、具体的な対策を検討していく体制が定着してきている。学部や学校全体で共有し、再発防止につなげている。</li> <li>中学部では、浜北女性の会と一緒に学校周辺の地域の花壇づくりに取り組んでいる。コロナ禍のためビデオメッセージや手紙でのやりとりが主になっているが、生徒自身に地域と主体的に関わる気持ちが育ち、良い交流を進めている。</li> <li>地域の理解により、作業製品展示販売会を浜北区役所、浜北商工会の協力により計画している。 展示販売会だけでなく、区役所や商工会、公共の駅等の清掃活動に取り組み、「地域を明るくしよう」を合言葉に地域に貢献する意識が育ってきている。</li> <li>7月に第1回学校運営協議会を実施した。今後、学校の抱える諸課題を共有し、地域全体で課題解決を図っていく。2学期には、交通安全運動を協力して実施する。</li> <li>昨年度は新型コロナウイルス感染症対策から直接交流の実施が困難で間接交流に切り替えたこ</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の関係諸機関との情報交換会や支援会議を実施する。</li> </ul> <p>4 業務の適正化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日を定時退勤日として、17時半施錠とする。それ以外の日は19時までには施錠する。施錠時間以降に業務を行う場合は、申告制とし、終了時刻を自分で決め、計画的に業務を遂行する。</li> <li>・各種会議は、原則1時間以内とし、事前の資料配付、タイムスケジュールの設定等速やかな進行を図る。</li> </ul>	<p>ともがあったが、今年度は、直接交流 19 件を計画している。間接交流を含めて 34 件の交流籍交流を取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策をしながら家庭支援、進路指導といった支援会議を関係機関と連携し開催している。各機関がそれぞれの役割果たすことで児童生徒に対して丁寧な支援を行うことができている。</li> <li>・仕事の進め方を工夫するようになり、19 時退勤が定着している。</li> <li>・会議のタイムテーブルを作ることにより、決められた時間内に会議を終了することができるようになってきている。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5 教職員について

### (1) 令和2年度異動状況

職名 区分	本 務 職 員											臨時・会計年度任用職員								合 計					
	教 育 職 員						行 政 職 員					本 務 計	教 諭 (任)	教 諭 (臨)	養 護 教 諭 (臨)	非 常 勤 講 師 (看 護)	非 常 勤 嘱 託 員	非 常 勤 勞 務 職 員	就 勞 促 進 專 門 員		校 医 等	臨 時 計			
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	小 計	事 務 長	主 査	主 任	主 事												主 任 技 能 員	小 計	
転出者		2		44			46			1	1		2	48	5									5	53
退職者				6			6							6		30		6	3	13	2			54	60
再任用 (転出・退職)				1			1							1											1
転入者		1		22			23							23	1									1	24
新任者				7			7							7	4	12	1	6	2	13	2			40	47
再任用 (新任)																									
差引増減		△1		△22			△23			△1	△1		△2	△25	0	△18	1		△1					△18	△43

## (2) 現 員 数

(令和3年9月30日現在)

職名 区分	本 務 職 員												臨時・会計年度任用職員								合 計			
	教 育 職 員						行 政 職 員						本 務 計	教 諭 (任)	教 諭 (臨)	養 護 教 諭 (臨)	非 常 勤 講 師 (看 護)	非 常 勤 嘱 託 員	非 常 勤 勞 務 職 員	就 労 促 進 専 門 員		校 医 等	臨 時 計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	小 計	事 務 長	主 査	主 任	主 事	主 任 技 能 員												小 計
男		1	1	36			38	1		1		1	3	41	4	4				3		6	17	58
女	1			85	2	1	89		2				2	91	8	8	1	5	1	8	1	1	33	124
計	1	1	1	121	2	1	127	1	2	1		1	5	132	12	12	1	5	1	11	1	7	50	182

## (3) 健康管理について

## ア 令和2年度

- (ア) 結核健診・生活習慣病検診・指定年齢健診・人間ドック・婦人科検診・脳ドックなど、適切な健康診断の受診を勧め、疾病の早期発見に努めた。
- (イ) 定期健康診断を完全実施し、要精密者に対して再検査の受診を促した。その結果、対象者全員が再検査を受け、区分が確定した。
- (ウ) 健康管理医による事後措置区分の結果を受けて、職員安全衛生委員会で取り上げ、職員の健康状態を把握した。
- (エ) 日常の健康管理については、特に腰痛予防に配慮するよう自己管理を促した。
- (オ) 職員安全衛生委員会を年11回開催し、職員の健康管理や職場の環境改善等について協議した。令和3年度も同様の回数を開催する予定である。なお、毎週水曜日を定時退勤日として17時半施錠を実施した。

内 容	実 施 回 数 等
仕事の効率アップ対策	学校全体で取り組んだ。
腰痛予防講座への参加	2月に1回実施した。
メンタルヘルス講座への参加	10月に1回実施した。

- (カ) 教職員サポートルーム指定面談を原則採用2年目教員、8人を対象として12月に実施した。該当者一人につき1時間程度の面談であったが、効果的な面談となった。

## イ 令和3年度

- (ア) 結核健診・生活習慣病検診・指定年齢健診・人間ドック・婦人科検診・脳ドックなど、適切な健康診断の受診を勧め、疾病の早期発見に努めている。
- (イ) 定期健康診断の完全実施を目指すとともに要精密者に対して再検査の受診を促す。
- (ウ) 健康管理医による事後措置区分の結果を受けて、職員安全衛生委員会で取り上げ、職員の健康状態を把握する。
- (エ) 日常の健康管理については、特に腰痛予防に配慮するよう自己管理を促している。
- (オ) 職員安全衛生委員会を年11回予定し、9月までに5回開催した。職員の健康管理や職場の環境改善等について協議している。なお11月以降、5回開催を予定している。また、毎週水曜日を定時退勤日として17時半完全施錠を実施している。

内 容	実 施 回 数 等
仕事の効率アップ対策	学校全体で取り組む。
腰痛予防講座への参加	1月に1回実施予定
メンタルヘルス対策	11～12月に1回実施予定

- (カ) 教職員サポートルーム指定面談を採用2年目教職員及び初任者研修免除1年目の教職員、9人を対象として令和4年1月に実施する。令和2年度同様、該当者一人につき1時間程度の面談で、効果的な面談となるように計画する。

(4) 教職員の研修について

ア 令和2年度

研究課題を「一人一人の確かな学びのある授業づくり～『学ぶ姿』からの授業改善～」として、「何を学ぶか」の明確化の上に、「どのように学ぶか」に視点を当てた授業づくりを行った。

各グループで単元カード等のツールを活用した実践を行うことで、計画段階で「学ぶ姿」を明確にしたり、「どのように学ぶか」に基づいて単元構想をしたりすることができた。事後検討会では、児童生徒の言動の「事実」とその「解釈」に分けて検討したことで、「学びの過程」を見取って授業改善につなげることの意義を実感できたり、「授業設計診断の4項目」についての理解が促されたりした。また、授業改善により、各グループの研究課題に迫る「学ぶ姿」の変容も確認することができた。しかし、「確かな学びの姿」を見取るまでは十分に至らず課題が残った。

目 的	内 容	成 果・課 題
(ア) 授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立グループは、自立活動（あそび、なかま、仲間）、小学部グループは生活単元学習、中学部と高等部グループは作業学習を窓口にして、小グループ単位での研究授業を中心に校内研究を進めた。</li> <li>校内で、授業研究や事後検討会を実施して、校内アドバイザーから得た指導・助言を活かして、授業改善を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元カード等のツールを活用することで、「どのように学ぶか」に基づいて単元構想をすることができた。事後検討会では、言動の「事実」と「解釈」に分けて検討し、「学びの過程」を見取って授業改善につなげることの意義を実感できたり、「授業設計診断の4項目」についての理解が促されたりした。さらに授業改善により、各グループの研究課題に迫る「学ぶ姿」の変容も確認することができた。グループの研究課題にとどまらず「確かな学びの姿」を見取るところまで迫れるようにしたい。</li> </ul>
(イ) 専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職経験が浅い職員を対象に、基礎基本研修を年会10回実施した。</li> <li>外部講師（OT、PT、ST）を招いての自立活動事例研修会を年間5回実施することを計画したが、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止とした。代替として、校内の専門性の高い教員を掲示板で紹介し、アドバイザーとして校内での学習会を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に関する基礎的な内容や、関係機関との連携や進路などについて、研修の機会を設けることができた。</li> <li>校内の教員を講師としたことで、学年会や自立会等の機会活用することができ、実際の児童生徒に指導を生かすことができた。しかし、より専門性を高めるためには外部講師</li> </ul>

<p>(ウ) 危機管理意識の向上</p>	<p>実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権について県の伝達研修と、静岡県人権教育の手引きを活用した校内研修を実施した。</li> <li>・関係者による給食異物混入対応マニュアルに基づく訓練を年度始めに行い自分の役割を確認した。</li> <li>・全職員が、給食異物混入対応マニュアルを見ながら、緊急時に迅速な対応がとれるように学年単位で給食異物混入対応訓練を実施し、各自がどのような対応をとれば良いのかを確認した。</li> <li>・医療的ケアについて、ハリーコール訓練を年度初めに実施した。</li> </ul>	<p>の講習は、必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権についての意識が高まりいじめや体罰防止等に努めることができた。いじめ体罰は0であった。</li> <li>・児童生徒の救急搬送 3件、異物混入が1件あったが、大きな事故にならなかった。小さなヒヤリハットを生かして、次の対策につなげていく。</li> </ul>
<p>(エ) 不祥事根絶</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間で定期的 19 回の不祥事根絶のための信頼向上研修を実施した。また、事例をあげて全校研修する機会を1回設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板を活用し、コンプライアンス通信を配信することで交通事故削減に成果があった。</li> <li>・全校で事例をあげて研修は、生徒の人権と保護者対応について考える機会となり教員一人一人が意見をすることができ有効な研修となった。</li> </ul>

イ 令和3年度

目 的	内 容
<p>(ア) 授業力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度から継続し、「一人一人の確かな学びのある授業づくり～『学ぶ姿』からの授業改善～」を研究課題とする。「何を学ぶか」の明確化の上に、「どのように学ぶか」に視点を当て、「授業設計診断の4項目」を手掛かりにして授業設計と改善を行う。児童生徒の「学ぶ姿」から、「何を」「どのように」学んでいるかを見取って学習評価をし、それを基に授業評価と改善を進めることにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図り、一人一人の確かな学びの姿を引き出す。</li> </ul>
<p>(イ) 専門性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本研修を年間9回実施する。特別支援学校での経験2年目までの教員を対象に、進路指導課や学習指導課と連携して、指導や授業づくりに役立つ基礎的な内容の研修とする。静岡大学教育学部山元薫准教授の協力を得て、知的障害教育に関わる基礎研修や「ラーニングマップの活用」についての講義を得る。</li> <li>・はごろも『夢』講演会を2回実施し、外部講師を招聘して「キャリア教育」や「特別支援教育に求められるもの」というテーマで研修をする。</li> <li>・外部講師（OT、PT、ST）を招いての自立活動事例研修会を年間5回実施する。新型コロナウイルス感染症対策としてZOOMを活用したリモートでの実施も代替え方法として計画する。</li> </ul>

(ウ) 危機管理意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導に関する研修として、キャリア教育研修として外部講師を招いての研修を実施する。</li> <li>・人権について県の伝達研修と、静岡県人権教育の手引きを活用した校内研修を実施する。外部講師研修としてスクールロイヤーの研修会を実施する。</li> <li>・医療的ケアについて、ハリーコール訓練を年度初めに実施する。</li> </ul>
(エ) 不祥事根絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとテーマを決め、年間 29 回の信頼向上研修を実施する。定期的にコンプライアンスについての通信を発行する。</li> </ul>

## 6 防災対策について

南海トラフ地震を想定し、大規模地震に備えるため、総合的な地震対策を整える。合わせて、児童生徒の生命や身体の安全を確保し、施設設備の保全を図るため、下記の基本方針で取り組んでいる。また、地震対策だけでなく、多角的な視点から防災対策について見直し、児童生徒、教職員等が「自分の命を自分で守る」ためにどう行動すべきかを考えられるような防災教育を行ったり、危機管理・安全体制を整備したりすることが、今後の課題である。

- (1) 校長を総指揮とする安全対策委員会を設置し、防災体制に関して改善を図る。
- (2) 浜松市地域防災計画における本校の役割について確認し、浜松市危機管理課との連携を密にする。
- (3) 学校防災計画の保護者への周知徹底を図る。緊急連絡の方法を検討する。
- (4) 非常防災設備の定期点検を行う。
- (5) 児童生徒の生命や身体の安全確保を図るため、状況に応じた避難誘導対策を十分に検討し、日頃から訓練を積み重ねる。児童生徒の在校時における南海トラフ臨時地震情報の発令状況を想定した防災避難訓練を計画的に実施する。
- (6) 浜松市と連携し、障害者や老人等、災害弱者のための福祉避難所としての開設を準備する。

### ア 令和2年度

#### (ア) 目標

- ・「自分の命を自分で守る」ことができる児童生徒を育てるための防災教育の充実を図る。
- ・既存の危機管理マニュアルを見直し、教職員が主体的に行動できる内容に改訂する。
- ・児童生徒、保護者、地域、関係機関との様々な災害時の対応について共通理解を図る。

#### (イ) 実施内容

実施日	想定	訓練内容	対象者
2.5.26	地震	避難経路の確認 避難の約束の確認	児童生徒 教職員 該当学年児童 生徒
2.8.27 ～8.31	発災	児童生徒の居住地、避難所確認 発災時の役割分担の確認	教職員
2.8.31	発災 火災	マンホールトイレ設置訓練	教職員
2.8.31	発災	非常食体験 寝袋体験	児童生徒 教職員
2.8.31	南海トラフ臨時地震情報（調査中）発表	メール配信、電話で保護者へ連絡、保護者への引き渡し	児童生徒 教職員 保護者



2. 8. 31	発災	Web171 を利用した児童生徒安否確認訓練 教職員の安否確認訓練	教職員 保護者
2. 9. 11	火災	避難経路の確認 火災報知機を使用した訓練 煙学習	児童生徒 教職員 該当学年児童 生徒
2. 11. 4	火災	防火扉を閉じた場合の避難経路、方法の確認 階段を使用した車椅子児童生徒の救出訓練	児童生徒 教職員
3. 1. 14	火災	予告なしの訓練	児童生徒 教職員
3. 1. 15 ～1. 21	発災	Web171 を利用した児童生徒安否確認訓練 教職員の安否確認訓練	教職員 保護者

#### (ウ) 成果と課題

例年の避難訓練時には、地震体験車、防災講話、煙体験を併せて実施し、消防署、西部危機管理局等外部の方から、助言や指導講評をいただいていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。火災避難訓練では、児童生徒へ新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた3密を避ける避難方法の事前学習を行った。また、防火扉が閉まった状況、スロープが使えない状況で、車椅子児童生徒を安全に避難させる方法をシミュレーションした。避難ヘルプ要員を派遣する際の指示系統に課題が残った。

危機管理マニュアルについては、昨年度改訂したものに、新しく役割分担早見表を追加した。発災前、発災時、発災後等の個々の役割分担が分かりやすくなり、緊急捜索時や給食の異物混入時の場面で対応ができるようになった。教職員は、その都度、マニュアルを再確認するなど危機管理意識が高まってきている。

新型コロナウイルス感染症対策では、学校生活での3密を防ぐことを共通理解し、毎日の消毒や手洗い、換気等の対策も習慣化することで、教職員、児童生徒一人ひとりが「うつらない」「うつさない」「ひろげない」ことを意識しながら新しい生活様式を実践している。

今後の課題として、多様化する自然災害や新型コロナウイルス感染症対策の研修を深め、教職員、児童生徒を対象に実際的な訓練や事前学習、事後学習を計画的に行うことで、「自分の命は自分で守る」という意識付けをしていく。

#### イ 令和3年度

##### (ア) 目 標

- ・「自分の命を自分で守る」ことができる児童生徒を育てるための防災教育の充実を図る。
- ・教職員が主体的に行動できるよう危機管理・安全体制を整備する。
- ・様々な災害時の対応について児童生徒、教職員、保護者、地域、関係機関で共通理解を図る。

##### (イ) 実施内容

実施日	想 定	訓 練 内 容	対 象 者
3. 5. 24	地震	避難経路の確認 避難の約束の確認 地震体験車体験 防災講話	児童生徒 教職員 該当学年児童 生徒
3. 7. 8	洪水	避難経路、避難教室の確認	児童生徒 教職員

3.7.28 ～8.6	発災	児童生徒の居住地、避難所確認	教職員
3.8.30	発災	非常食体験 寝袋体験	児童生徒 教職員
3.8.30	南海トラフ臨時地震情報（調査中）発表	保護者への連絡、引き渡し Web171 を利用した児童生徒安 否確認訓練	児童生徒 教職員 保護者
3.8.30	発災	マンホールトイレ設置 発電機点検	教職員
3.9.3	火災	避難経路の確認 火災報知機を使用した訓練 煙学習 防火扉を通る訓練	児童生徒 教職員 該当学年児童 生徒
3.11.2	地震	避難経路の確認 避難の約束の確認	児童生徒 教職員
4.1	発災	予告なしの訓練	児童生徒 教職員

(ウ) 進捗状況

昨年度から取り組んでいる新型コロナウイルス感染症対策では、学校生活での3密を防ぐことを共通理解し、毎日の消毒や手洗い、換気等の対策も習慣化することで、教職員、児童生徒一人ひとりが「うつらない」「うつさない」「ひろげない」ことを意識しながら新しい生活様式を実践している。その経験を生かし、今年度はコロナ禍でもできる実際的な場面を想定した訓練を計画した。実際の訓練と学校生活を関連付けて「自分の命を自分で守る」ことを意識し、訓練ごとに学級で事前・事後指導を行うことで、それぞれの発達段階や理解度に応じた防災教育に取り組むことができた。

浜松市のハザードマップより、南海トラフ地震が起きた場合、本校のグラウンドは液状化する可能性があることが分かり、災害時の引き渡しでグラウンドを使用しない方法を再検討し、訓練を行った。グラウンドを使用しない引き渡し方法を確立し保護者に事前周知したことで、従来の引き渡し方法よりも動線が分かりやすくなり全体把握もしやすくなり、安全で迅速な引き渡しができるようになった。また、肢体不自由児童生徒の教室配置を1階にしたことで、災害時により迅速に避難できる環境を整備することができた。

今後も学校の実態や災害の傾向が変化していくことが予想されるため、その都度危機管理マニュアルの見直しを行っていく必要がある。

緊急地震速報への対応、グラウンドの液状化の際の保護者への引き渡し方法、河川の増水、教員の不在、一部保護者の訓練参加など、様々な災害時に対応できるように実際的な訓練を計画し、児童生徒、教職員、保護者間で共通理解を図ることができた。今後は、地域や関係機関とどのような協力体制を築いていくかが課題である。

7 学校開放について

地域に開かれ地域と連携のできる学校となるため、教育活動に支障のない範囲で施設の開放を行っている。

(1) 令和2年度

施設名	種 目	利用日数	延利用人員	電 気 料
体 育 館	スポーツ教室 (体操、ボール運動等)	3 日	31 人	823 円
運 動 場	サッカー、陸上	17 日	559 人	— 円

(2) 令和3年度（令和3年9月30日現在）

学校開放実績無し

# 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、第77条、第81条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） いじめ防止対策推進法（第8条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 県立学校行事キャンセル料支援事業費補助金交付要綱

# 学 校 施 設 の 概 要

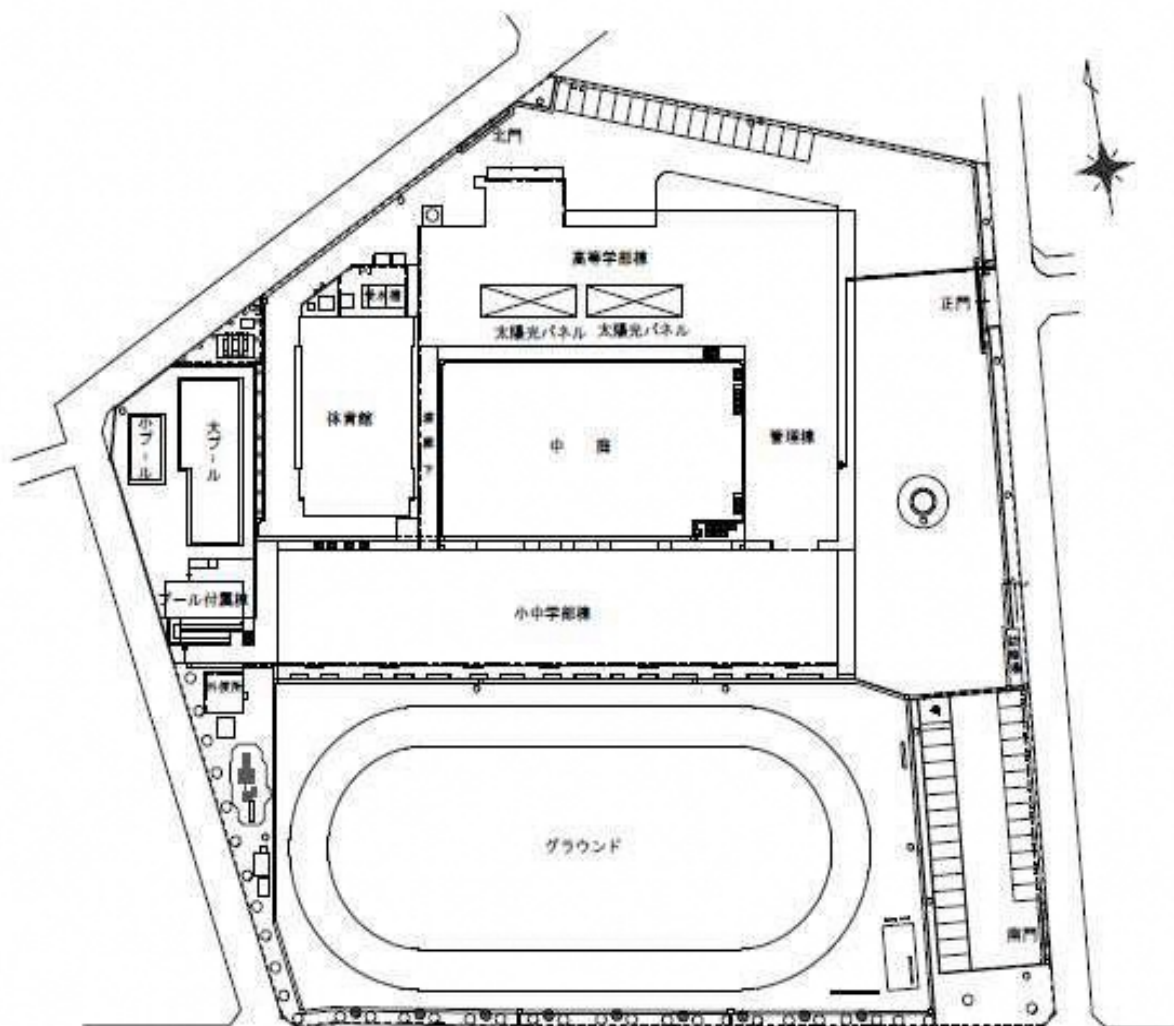
## 1 面積及び所有区分

(令和3年9月30日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	18,000.00	18,000.00					
内 訳	校 舎 敷 地	13,070.00	13,070.00				
	運 動 場 敷 地	4,930.00	4,930.00				
	そ の 他 の 敷 地						
校 舎	建 3,919.07	3,919.07					
	延 6,929.55	6,929.55					
体 育 館	建 559.52	559.52					
	延 549.85	549.85					
そ の 他 の 建 物	建 198.49	198.49					
	延 103.99	103.99					
プ ー ル	2 個	2 個					大25m×8m 5コース 小10m×5m

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	18,000.00 m <sup>2</sup>	6,929.55 m <sup>2</sup>	4,930.00 m <sup>2</sup>
県平均	17,024.29 m <sup>2</sup>	6,367.07 m <sup>2</sup>	4,704.26 m <sup>2</sup>

# 在 籍 生 徒 調

(小学部)

(令和3年9月30日)

学年	区分	定員	男子	女子	計	学年	区分	定員	男子	女子	計		
1年	入学者	—	10	4	14	5年	入学者	—	13	7	20		
	増加 減少						増加 減少						
		現在		10	4			14	2年時当初			13	7
	2年	入学者	—	20	4		24	増加 減少					
増加 減少							3年時当初				2		2
		2年時当初			9		2	11	増加 減少				
増加 減少								4年時当初				11	7
		現在			11		2	13	増加 減少				
増加 減少								5年時当初					1
	3年	入学者	—	21	4		25	増加 減少					
増加 減少							4年時当初				2		2
		2年時当初			1			1	増加 減少				
増加 減少							5年時当初				3	3	6
		3年時当初			1		1	増加 減少					
増加 減少							現在				10	3	13
		現在			21	4	25	6年	入学者	—	14	6	20
増加 減少							増加 減少						
		2年時当初			7	1			8	増加 減少			
増加 減少							2年時当初					14	6
	3年時当初			14	4	18	増加 減少						
増加 減少						3年時当初					14	6	20
	現在			15	4	19	増加 減少						
増加 減少						4年時当初					14	6	20
	4年	入学者	—	22	9	31	増加 減少						
増加 減少						5年時当初					15	6	21
		2年時当初			1		1		増加 減少				
増加 減少							6年時当初					9	4
		3年時当初			22	8	30	増加 減少					
増加 減少							現在				10	4	14
		4年時当初			1		1	増加 減少					
増加 減少							小学部計		—		75	25	100
		現在			23	7	30						
増加 減少													
		4年時当初			6		6						
増加 減少													
	現在			17	8	25							
増加 減少													
	現在			1		1							
増加 減少													
	現在			18	8	26							
増加 減少													
	現在												

# 在 籍 生 徒 調

(中学部)

(高等部)

(令和3年9月30日現在)

(中学部)						(高等部)					
学年	区 分	定員	男子	女子	計	学年	区 分	定員	男子	女子	計
1年	入学者	—	18	9	27	1年	入学者	36	21	11	32
	増加						増加				
	減少						減少				
	現 在		18	9	27		現 在		21	11	32
2年	入学者	—	27	11	38	2年	入学者	54	28	18	46
	増加						増加				
	減少		15	4	19		減少		1		1
	2年時当初		12	7	19		2年時当初		27	18	45
	増加						増加				
	減少						減少				
	現 在		12	7	19		現 在		27	18	45
3年	入学者	—	27	7	34	3年	入学者	57	27	24	51
	増加						増加				
	減少						減少				
	2年時当初		27	7	34		2年時当初		27	24	51
	増加			1	1		増加				
	減少		10	4	14		減少			1	1
	3年時当初		17	4	21		3年時当初		27	23	50
	増加						増加		1		1
	減少						減少			1	1
	現 在		17	4	21		現 在		28	22	50
中学部計		—	47	20	67	高等部計		147	76	51	127

## 入学志願者及び入学者数調

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		51	51	57	54	36
募集者数 (B)		51	51	57	54	36
志願者数	男	34 (0)	30 (0)	28 (0)	28 (0)	21 (0)
	女	13 (0)	12 (0)	24 (0)	18 (0)	11 (0)
	計(C)	47 (0)	42 (0)	52 (0)	46 (0)	32 (0)
受検者数	男	34 (0)	30 (0)	28 (0)	28 (0)	21 (0)
	女	13 (0)	12 (0)	24 (0)	18 (0)	11 (0)
	計(D)	47 (0)	42 (0)	52 (0)	46 (0)	32 (0)
合格者数	男	34 (0)	30 (0)	27 (0)	28 (0)	21 (0)
	女	13 (0)	12 (0)	24 (0)	18 (0)	11 (0)
	計(E)	47 (0)	42 (0)	51 (0)	46 (0)	32 (0)
志願倍率 (C)/(B)		0.92	0.82	0.91	0.85	0.89
受検倍率 (D)/(B)		0.92	0.82	0.91	0.85	0.89
入学者数	男	32	30	27	28	21
	女	13	12	24	18	11
	計 (F)	45	42	51	46	32
充足率 (F)/(A)		0.88	0.82	0.89	0.85	0.89



## 卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部		26			26
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職			8		8
上 記 以 外 ※			34		34
不 詳 ・ 死 亡					
計 (卒業者総数)		26	42		68

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
児童福祉施設					
障害者支援施設			33		33
(うち就労系支援事業利用者)			(14)		(14)
医療機関			1		1
計			34		34

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地（令和3年9月30日現在）（単位：人）

市町名	浜松市	磐田市	合計
生徒数	275	19	294
構成比%	93.5	6.5	100%

(2) 通学方法（令和3年9月30日現在）（単位：人）

区分	スクールバス	公共機関	自家用車	自転車	徒歩	合計
生徒数	98	40	130	11	15	294
構成比%	33.3	13.6	44.2	3.8	5.1	100%

### 2 部（クラブ）の加入状況

（令和3年9月30日現在）（単位：人）

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		3	2		5
男子	1年	4	3	14	21
	2年	9	3	15	27
	3年	7	2	19	28
	計(A)	20	8	48	76
	構成比	26.3%	10.5%	63.2%	100%
	女子	1年	3	3	5
2年		0	1	17	18
3年		8	2	12	22
計(B)		11	6	34	51
構成比		21.6%	11.7%	66.7%	100%
合計		(A+B)	31	14	82
	構成比	24.4%	11.0%	64.6%	100%

3 障害別児童生徒数 (令和3年9月30日現在) (単位:人)

区 分		1年 (2歳)	2年 (3歳)	3年 (4歳)	4年 (5歳)	5年	6年	合 計	学級数
幼稚園部	単一障害								
	—								
	—								
	合計								
小学部	単一障害	10	7	8	9	4	8	46	10
	重複障害	3	4	8	8	4	2	29	10
	肢体重複	1	3	3	9	5	4	25	10
	合計	14	14	19	26	13	14	100	30
中学部	単一障害	13	10	13				36	8
	重複障害	10	6	6				22	7
	肢体重複	4	3	2				9	4
	合計	27	19	21				67	19
高等部	単一障害	25	38	40				103	13
	重複障害	3	3	3				9	3
	肢体重複	4	4	7				15	7
	合計	32	45	50				127	23

4 起因疾患別児童生徒数

(令和3年9月30日現在) (単位:人)

区 分	知的障害	自閉症 スペクトラム	染色体異常	脳性疾患	その他	計
幼稚園部						
小学部	7	45	18	15	15	100
中学部	12	33	12	5	5	67
高等部	25	66	19	12	5	127
訪 問						
計	44	144	49	32	25	294

# 預 金 調

( 令和3年9月 30 日現在 )

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0428991	静岡県立浜北特別支援学校 資金前渡者 前田 貴子	10,000	給与等・交際費
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0429143	(自振口) 静岡県立浜北特別支援学校 資金前渡者 前田 貴子	0	公共料金等引落
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0430868	静岡県立浜北特別支援学校奨励費 代理受領者 前田 貴子	0	就学奨励費
残 高 合 計				10,000	

# 郵 券 等 受 払 調

(令和3年9月30日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令 和 2 年 度						令 和 3 年 度						摘要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	120円券	10	1,200	100	12,000	66	7,920	44	5,280	50	6,000	16	1,920	78	9,360	公務 連絡用
	84円券	41	3,444	300	25,200	197	16,548	144	12,096	300	25,200	178	14,952	266	22,344	
	63円券			75	4,725	69	4,347	6	378					6	378	
	10円券	12	120	100	1,000	85	850	27	270	200	2,000	22	220	205	2,050	
計		4,764		42,925		29,665		18,024		33,200		17,092		34,132		

# 材 料 品 受 払 調

(令和3年9月30日現在)

区分 品名	令 和 2 年 度						令 和 3 年 度						摘要		
	繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
木材	本	円	本	円	本	円	本	円	本	円	本	円	本	円	
	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
			352	85,972	352	85,972			56	6,688	56	6,688			
陶芸用粘土	袋	円	袋	円	袋	円	個	円	個	円	個	円	個	円	
			10	37,334	10	37,334			5	31,095	5	31,095			
牛革	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
			2	66,682	2	66,682			1	38,637	1	38,637			
布	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
			18	95,146	18	95,146			22	51,500	22	51,500			
糸	玉	円	玉	円	玉	円	玉	円	玉	円	玉	円	玉	円	
			111	36,282	111	36,282									
計		0		321,416		321,416		0		162,790		162,790		0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和元年度	令和2年度	左のうち、前年度からの繰越額分
(13) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	731,632	/
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		657,120	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		75,512,523	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		13,299,300	
計					74,783,630	90,200,575	0
(15) 工請負事費					/		/
計					0	0	0
(17) 公有財産購入費					/		/
計					0	0	0
(18) 備入品費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	33,818,180	/
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		6,653,240	
計					3,603,710	40,471,420	0
(19) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	379,600	/
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		100,990	
計					54,000	480,590	0
(22) 補償、補填及び賠償金					/		/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和3年9月30日現在)

節	名	会	計	款	項	目	執行済額 (円)	
								うち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教	育	費	高等学校費	高等学校管理費	267,373	0
	一般会計	教	育	費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	9,300,630	0
	一般会計	教	育	費	学校教育費	健康体育費	5,358,981	
計							14,926,984	0
(14) 工請負費								
計							0	0
(16) 公有財産購入費								
計							0	0
(17) 備購入費	一般会計	教	育	費	教育委員会費	教育管理費	0	
	一般会計	教	育	費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	550,000	
計							550,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教	育	費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	15,000	0
計							15,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金								
計							0	0

# 委 託 料 に 関 す る 調

(令和2年度)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	給食業務	(株)いづみ 食品	円 41,602,680	円 41,212,800	円 212,000 △6,796 △17,262	円 41,400,742	一 般	29. 8. 1 ～ 2. 7. 31	2. 5. 29 2. 6. 30 2. 7. 31 2. 8. 31 小計	円 (36,754,004) 1,166,000 1,166,000 1,166,000 1,148,738 4,646,738	学校給食調 理・配膳業 務	29 長期
2	給食業務	(株)ミカサ	43,792,100	37,540,800	0	37,540,800	一 般	2. 8. 1 ～ 5. 7. 31	2. 9. 30 2.10.30 2.11.30 2.12.25 3. 1. 29 3. 2. 26 3. 3. 31 3. 4. 30 小計	1,042,800 1,042,800 1,042,800 1,042,800 1,042,800 1,042,800 1,042,800 1,042,800 8,342,400	学校給食調 理・配膳業 務	2 長期
3	スクール バス運行 管理業務	浜松バス (株)	11,854,095	11,497,500	△39,489 △53,885	11,404,126	不 随	31. 4. 1 ～ 3. 3. 31	2. 5. 29 2. 6. 30 2. 7. 31 2. 8. 31 2. 9. 30 2.10.30 2.11.30 2.12.25 3. 1. 29 3. 2. 26 3. 3. 31 3. 4. 30 小計	(5,683,011) 481,250 481,250 481,250 481,250 481,250 481,250 481,250 481,250 481,250 481,250 481,250 427,365 5,721,115	通学・校外 活動の送迎 車 両 の 点 検・管理業 務	31 長期
4	通学バス 輸送業務	浜松バス (株)	117,661,319	107,813,700	△303,598 △395,180	107,114,922	一 般	31. 4. 1 ～ 3. 3. 31	2. 5. 29 2. 6. 30 2. 7. 31 2. 8. 31 2. 9. 30 2.10.30 2.11.30 2.12.25 3. 1. 29 3. 2. 26 3. 3. 31 3. 4. 30 小計	(53,357,102) 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,512,750 4,117,570 53,757,820	通学・校外 活動の送迎 業務	31 長期
5	通学バス輸送 業務(新型コ ロナウイルス 感染症対策)	浜松バス (株)	9,110,200	9,110,200	0	9,110,200	随 契	2. 6. 8 ～ 2. 8. 5	2. 7. 31 2. 8. 31 2. 9. 1 小計	3,777,400 4,666,200 666,600 9,110,200	通学の迎車 業務 5 台	随契2号 (不適)
6	通学バス輸送 業務(新型コ ロナウイルス 感染症対策)	浜松バス (株)	1,984,400	1,984,400	0	1,984,400	随 契	2. 8. 28 ～ 2.10.30	2. 9. 30 2.10.30 2.11.30 小計	90,200 902,200 992,200 1,984,400	通学の迎車 業務 1 台	随契2号 (不適)



整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘要
7	通学バス輸送 業務(新型コ ロナウイルス 感染症対策)	浜松バス 株	1,713,800	1,713,800	0	1,713,800	随 契	2.11.1 ～ 2.12.25	2.12.25 3.1.29 小計	856,900 856,900 1,713,800	通学の迎車 業務 1台	随契2号 (不適)
8	通学バス輸送 業務(新型コ ロナウイルス 感染症対策)	浜松バス 株	2,164,800	2,164,800	0	2,164,800	随 契	3.1.1 ～ 3.3.31	3.2.26 3.3.31 3.4.30 小計	721,600 766,700 676,500 2,164,800	通学の迎車 業務 1台	随契2号 (不適)
9	エレベーター 保守 点検業務	株日立ビル システム 中部支社	673,200	673,200	0	673,200	随 契	2.4.1 ～ 3.3.31	2.10.30 2.11.30 2.12.25 3.1.29 3.2.26 3.3.31 3.4.30 小計	56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 673,200	遠隔監視及 び点検調整 修理業務	随契1号 (少額)
10	可燃物収 集運搬処 分業務	株リサイ クルクリ ーン	1,304,160	収集・運搬料 1回当たり 2,640円 処分手数料 13.2円/kg	0	収集・運搬料 1回当たり 2,640円 処分手数料 13.2円/kg	指 名	2.4.10 ～ 3.3.31	2.5.29 2.6.30 2.7.31 2.8.31 2.9.30 2.10.30 2.11.30 2.12.25 3.1.29 3.2.26 3.3.31 3.4.30 小計	63,373 67,227 103,778 94,604 56,192 96,756 106,444 95,475 102,894 91,647 80,850 117,480 1,076,720	可燃物収集 運搬処分業 務	単価契約 浜名高 浜北西高
11	廃棄物収 集運搬処 分業務	株リサイ クルクリ ーン	51,700	51,700	0	51,700	随 契	2.5.7 ～ 2.8.31	2.6.30	51,700	廃棄物収集 運搬処分業 務	随契1号 (少額)
12	廃棄物収 集運搬処 分業務	株リサイ クルクリ ーン	51,700	51,700	0	51,700	随 契	2.8.26 ～ 2.12.25	2.11.13	51,700	廃棄物収集 運搬処分業 務	随契1号 (少額)
13	廃棄物収 集運搬処 分業務	株リサイ クルクリ ーン	51,700	51,700	0	51,700	随 契	3.1.6 ～ 3.3.26	3.3.22	51,700	廃棄物収集 運搬処分業 務	随契1号 (少額)
14	廃棄物収 集運搬処 分業務	株太洋サ ービス	45,100	45,100	0	45,100	随 契	2.9.10 ～ 2.12.25	2.11.16	45,100	廃棄物収集 運搬処分業 務	随契1号 (少額)
15	グリストラップ 清掃及び産 業廃棄物収 集運搬処 分業務	株太洋サ ービス	58,300	58,300	0	58,300	随 契	2.12.25 ～ 3.3.26	3.2.16	58,300	グリストラップ 清掃及び産 業廃棄物収 集運搬処 分業務	随契1号 (少額)
16	浜松みをつ くし特別支 援学校に係 る物品移設 業務	株金指商 会	320,375	285,450	0	285,450	随 契	3.2.22 ～ 3.3.26	3.4.13	285,450	浜松みをつ くし特別支 援学校に係 る物品移設 業務	随契1号 (少額)
17	浜松みをつ くし特別支 援学校に係 る物品移設 業務	株金指商 会	377,982	366,982	0	366,982	随 契	3.3.15 ～ 3.3.31	3.4.14	366,982	浜松みをつ くし特別支 援学校に係 る物品移設 業務	随契1号 (少額)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
18	浜松みをつくし特別支援学校に係るグラントピアノ移設業務	ピアノ運送(株)浜松支店	79,200	79,200	0	79,200	随契	3. 2.22 ～ 3. 3.26	3. 4.5	79,200	浜松みをつくし特別支援学校に係るピアノ移設業務	随契1号(少額)
19	警備業務	セコム(株)	856,350	666,050	0	666,050	随契	3. 2.22 ～ 6. 9.30	3. 3.31 3. 4.30 小計	3,850 15,400 19,250	浜松みをつくし特別支援学校機械警備業務	随契1号(少額) 2長期
合計		19件								90,200,575		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	警備業務	セコム(株)	/	10,164,000	0	10,164,000	/	1. 10.1 ～ 6. 9.30	/	/	事務室等機械警備業務	浜松工業高
参考2	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	/	17,160,000	184	17,160,184	/	2. 4. 1 ～ 3. 3.31	/	/	消防用設備等保守点検業務	浜松湖北高
参考3	自家用電気工作物保安管理	遠鉄アシスト(株)	/	2,119,920	0	2,119,920	/	2. 4. 1 ～ 3. 3.31	/	/	電気工作物保安管理業務	浜松城北工業高
参考4	プール浄化装置保守点検業務	清化工業(株)	/	983,400	0	983,400	/	2. 4. 9 ～ 2.11.30	/	/	プール浄化装置保守点検業務	浜松東高
参考5	防鼠防虫業務	(株)帝装化成浜松営業所	/	237,600	0	237,600	/	2. 4.15 ～ 3. 3.31	/	/	学校給食施設の防鼠防虫業務	浜松特支
参考6	浜松北地区県立学校定期点検業務	(有)山口一級建築士事務所	/	4,400,000	0	4,400,000	/	2. 9.15 ～ 3. 1.25	/	/	建築基準法第12条点検業務	浜北西高
計		6件										

# 委託料に関する調

(令和3年度)

(令和3年9月30日現在)

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	給食業務	㈱ミカサ	43,792,100	37,540,800	0	37,540,800	一 般	2. 8. 1 ～ 5. 7. 31	3. 5. 31 3. 6. 30 3. 7. 30 3. 8. 31 3. 9. 30 小計	(8,342,400) 1,042,800 1,042,800 1,042,800 1,042,800 1,042,800 5,214,000	学校給食調 理・配膳業 務	2長期
3	スクール バス運行 管理業務	大新東㈱ 静岡営業 所	17,094,875	13,860,000	0	13,860,000	一 般	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	3. 5. 31 3. 6. 30 3. 7. 30 3. 8. 31 3. 9. 30 小計	385,000 385,000 385,000 385,000 385,000 1,925,000	通学・校外 活動の送迎 車 両 の 点 検・管理業 務	3長期
3	通学バス 輸送業務	遠州鉄道 ㈱	89,908,500	48,989,391	0	48,989,391	一 般	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	3. 5. 31 3. 6. 30 3. 7. 30 3. 8. 31 3. 9. 30 小計	1,360,816 1,360,816 1,360,816 1,360,816 1,360,816 6,804,080	通学・校外 活動の送迎 業務	3長期
4	通学バス輸送 業務(新型コ ロナウイルス 感染症対策)	遠州鉄道 ㈱	5,653,395	5,653,395	0	5,653,395	随 契	3. 8. 27 ～ 3. 12. 23	3. 9. 30	209,385	通学の迎車 業務 2台	随契2号 (不適)
5	エレベー ター保守 点検業務	㈱日立ビル システム 中部支社	673,200	673,200	0	673,200	随 契	3. 4. 1 ～ 4. 3. 31	3. 5. 31 3. 6. 30 3. 7. 30 3. 8. 31 3. 9. 30 小計	56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 280,500	遠隔監視及 び点検調整 修理業務	随契1号 (少額)
6	可燃物収 集運搬処 分業務	㈱北部清 掃	1,322,420	収集・運搬料 1回当たり 2,860円 処分手数料 13.2円/kg	0	収集・運搬料 1回当たり 2,860円 処分手数料 13.2円/kg	指 名	3. 4. 12 ～ 4. 3. 31	3. 5. 31 3. 6. 30 3. 7. 30 3. 8. 31 3. 9. 30 小計	78,716 92,519 114,519 93,421 56,544 435,719	可燃物収集 運搬処分業 務	単価契約 浜名高 浜北西高
7	グリストラップ 清掃及び産 業廃棄物収 集運搬処 分業務	㈱太洋サ ービス	58,300	58,300	0	58,300	随 契	3. 8. 18 ～ 3. 9. 30	3. 9. 17	58,300	グリストラップ 廃油(汚泥) 収集運搬処 分業務	随契1号 (少額)
合 計		7 件								14,926,984		

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参 考 1	警備業務	セコム(株)		10,164,000	0	10,164,000		1. 10.1 ～ 6. 9.30			事務室等機 械警備業務	浜松工業 高
参 考 2	消防用設 備等保守 点検業務	静岡県消 防設備保 守点検業 協同組合		18,700,000	△277,090	18,422,910		3. 4. 1 ～ 4. 3.31			消防用設備 等保守点検 業務	浜松湖北 高
参 考 3	自家用電 気工作物 保安管理	遠鉄アシ スト(株)		2,745,160	34,320	2,779,480		3. 4. 1 ～ 4. 3.31			電気工作物 保安管理業 務	浜松城北 工業高
参 考 4	プール浄 化装置保 守点検業 務	清化工業 (株)		998,800	0	998,800		3. 4. 9 ～ 3.11.30			プール浄化 装置保守点 検業務	浜松東高
参 考 5	防鼠防虫 業務	(株)帝装化 成浜松営 業所		237,600	0	237,600		3. 4.12 ～ 4. 3.31			学校給食施 設の防鼠防 虫業務	浜松特支
参 考 6	浜松北地 区県立学 校定期点 検業務	(有)山口一 級建築士 事務所		3,080,000	0	3,080,000		3. 9.15 ～ 4. 1.25			建築基準法 第12条点検 業務	浜北西高
	計	6 件										

## 補助金支出調

(令和2年度)

整理 番号	対 象 事業名	交付先	補助の 根 拠	事業の 実 績	総事 業費	補助 金額	補 助 率	交付決定		交 付		事業完了		摘 要
								年 月 日	金 額	年 月 日	金 額	年 月 日	確 認 年月 日	
1	県立学 校行事キ ャンセル 料支援 事業費 補助金	高等部 3年生徒 保護者 40名	県立学 校行事 キャン セル料 支援事 業費補 助金交 付要綱	新型コロ ナウイル ス感染拡 大防止の 影響によ る学校行 事延期に 伴うキャン セル料等 の補助	円 379,600	円 379,600	定 額	3.2.16	円 379,600	3.3.15	円 379,600	3.1.25	3.1.25	
計		40件	/	/	379,600	379,600	/	/	379,600	/	379,600	/	/	

令和3年度 該当なし

# 負担金支出調

(令和2年度)

整理 番号	負担金名	交 付 先	負 担 根 拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	規 約	教育の充実・改善の推進及び教育上の調査研究	円 5,000	2. 7. 31
2	講習参加費	一般社団法人静岡県安全運転管理協会	講習通知	道路交通法による安全運転管理者等講習	4,500	2. 8. 26
3	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	会 則	学校の管理運営に関する調査研究	15,000	2. 11. 25
4	電 気 料 金	中村建設株式会社	請 求 書	浜松みをつくし特別支援学校に係る電気料金	76,490	3. 4. 30
計		4 件			100,990	

# 負担金支出調

(令和3年度)

(令和3年9月30日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担 根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	規約	教育の充実・改善の推進及び教育上の調査研究	円 5,000	3.7.19
2	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	会則	学校の管理運営に関する調査研究	10,000	3.9.30
計		2件			15,000	

# 建 築 工

(参考)

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 設 計 金 額	契 約 金	
					初 額	変 更 増 減 額
				円	円	円
参考 1	教育総務費	令和2年度 静岡県立下田高等学校 外114校校内LAN整備工 事	下田市蓮台寺 地内外	499,730,000	461,571,220	33,421,300
参考 2	教育管理費	令和2年度[第32- Z2408-01号] 浜北特別支援学校他特 別教室空調設備設置工 事(機械設備)	浜松市浜北区 中瀬地内	29,942,000	29,920,000	▲ 451,000
参考 3	教育管理費	令和2年度[第32- Z2408-01号] 浜北特別支援学校他特 別教室空調設備設置工 事(電気設備)	浜松市浜北区 中瀬地内	21,560,000	21,538,000	0
参考 4	教育管理費	令和2年度 天竜特別支援学校他換 気扇設置工事	浜松市天竜区 渡ヶ島地内他	12,331,000	11,814,000	143,000
参考 5	教育管理費	令和2年度 浜北特別支援学校トイ レ洋式化工事	浜松市浜北区 中瀬地内	11,506,000	11,000,000	
		合 計	5 件	575,069,000	535,843,220	33,113,300

令和3年度 該当なし



# 事 調

(令和2年度)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手		支 出 済 額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
計			完成(予定)	年 月 日				
円 494,992,520	一般	西日本電信 電話(株)静岡 支店	着手 H32.8.5	完成 H33.3.23	円 494,992,520	校内LAN整備工事一 式 ・フロアスイッチ更 新 ・教室へのアクセス ポイント設置 ・電源キャビネット 設置(特支・高校中 等部のみ)	—	教育部 教育政策課
29,469,000	一般	フジテック (株)	着手 R2.11.11	完成 R3.3.15	29,469,000	特別教室の空調設備 設置に係る機械設備 工事一式	済	交通基盤部 建築支援局 設備課
21,538,000	指名	昭栄電気工 業(株)	着手 R2.12.8	完成 R3.3.29	21,538,000	特別教室の空調設備 設置に係る電気設備 工事一式	済	交通基盤部 建築支援局 設備課
11,957,000	随意	フジテック (株)	着手 R3.1.19	完成 R3.3.29	11,957,000	教室換気扇設置工事	—	教育部 教育施設課 随契8号 (不調)
11,000,000	指名	日管(株)	着手 R3.1.20	完成 R3.3.29	11,000,000	トイレ洋式化工事	—	教育部 教育施設課
568,956,520					568,956,520			

# 公 有 財 産 調 査

( 令 和 2 年 度 )

区 分	令和2年3月 31 日現在		増		減		令和3年3月 31 日現在		摘 要
	数 量 又 は 面 積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数 量 又 は 面 積	台帳価格	
行 政 財 産		千円 1,835,221		千円 32,980		千円 51,830		千円 1,816,371	
土 地	m <sup>2</sup> 18,000.00	750,394					m <sup>2</sup> 18,000.00	750,394	
立 木 竹	本 61	3,553					本 61	3,553	
建 物	m <sup>2</sup> 4,677.08 7,583.39	918,107				39,130	m <sup>2</sup> 4,677.08 7,583.39	878,977	
工 作 物	個 55	163,167	2	32,980		12,700	個 57	183,447	
普 通 財 産		0		0		0		0	
土 地	m <sup>2</sup> 0.00						m <sup>2</sup> 0.00		
建 物	m <sup>2</sup> 0.00 0.00						m <sup>2</sup> 0.00 0.00		
工 作 物	個 0						個 0		
公有財産に準ずるもの		30		0		0		30	
電 話 加 入 権	件 3	30					件 3	30	

令和3年度中増減なし

# 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和3年度)

(令和3年9月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	( 契 約 額 の 年 度 別 内 訳 )						
				平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
長	スクールバス 運行管理業務 委託	スクールバス 運行管理業務 1台  (契約日) 平成31年4月1日	円  11,404,126	円	円	円 5,683,011	円 5,721,115	円	円	円
		スクールバス 運行管理業務 1台  (契約日) 令和3年4月1日	円  13,860,000				円 4,620,000	円 4,620,000	円 4,620,000	
期	通学バス輸 送業務委託	通学バス輸 送業務 4台  (契約日) 平成31年4月1日	円  107,114,922			円 53,357,102	円 53,757,820			
		通学バス輸 送業務 2台  (契約日) 令和3年4月1日	円  48,989,391					円 16,329,792	円 16,329,792	円 16,329,807
約	給 食 業 務 委 託	給食の調理配 膳業務  (契約日) 平成29年8月1日	円  41,400,742	円 9,158,400	円 13,737,600	円 13,858,004	円 4,646,738			
		給食の調理配 膳業務  (契約日) 令和2年8月1日	円  37,540,800				円 8,342,400	円 12,513,600	円 12,513,600	円 4,171,200

# 行政財産貸付・使用許可調

(令和3年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市浜北区 西中瀬2丁 目3番1号	宅地	学校敷地	電柱4本	1,500	6,000 円	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	中部電力パワー グリッド(株) 浜北営業所長	電力供給・電 気通信事業設 備設置
2	土地	学校敷地	浜松市浜北区 西中瀬2丁 目3番1号	宅地	学校敷地	0.69 m <sup>2</sup>	-	免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	浜松市長	道路反射鏡設 置
3	土地	学校敷地	浜松市浜北区 西中瀬2丁 目3番1号	宅地	学校敷地	0.21 m <sup>2</sup>	-	免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	中瀬4区 自治会長	街灯設置
合 計								6,000			

# 主 要 備 品 調

(令和3年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	1-13	その他の厨房器具	真空冷却機 三浦工業 KIG2D-15KH	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	円 2,587,200
2	1-13	加熱器具	ガススチームコンベクションオープン コメットカトウ CSVH-G10-T	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成27年2月	1,998,000
3	2-1	パーソナルコン ピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ (一式) パソコン16台	毎日(年間202日) 情報の授業に使用	平成29年1月	1,956,010
4	6-9	木工用機械	丸鋸盤 石津製作所 ISC-1300	週3日(年間109日) 作業学習に使用	平成21年3月	1,900,500
5	6-9	木工用機械	かんな盤 鈴三鉄工所 GN-45	週1日(年間39日) 作業学習に使用	平成21年3月	1,430,100
6	10-8	その他の芸術用 器具	陶芸窯 浜松ヒートテック KRK-20B	週1日(年間39日) 作業学習に使用	平成21年3月	1,249,500
7	1-13	食品食器洗浄機	ドアタイプ洗浄機 アイホー ASG-60	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	1,096,200
8	1-13	その他の厨房器具	電気式食器消毒保管庫 アイホー EW-2003	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	1,092,000
9	1-4	移動書庫	縦型移動棚 オカムラ ROD7AZ	毎日(年間365日) 書類の保管に使用	平成21年3月	745,500
10	1-13	調理器具	ガス回転釜 桐山工業 KIG2D-15KH	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	729,750
11	1-13	食品保存庫	電気式消毒保管機 中西製作所 MCSK-10-eT	毎日(年間193日) 給食調理に使用	令和2年3月	713,900
12	3-3	プロジェクター	移動プロジェクター一式	各クラス月2回 (各クラス年間24日) 各授業に使用	平成31年3月	693,360
13	1-13	調理器具	ガス回転釜 服部工業 GHSL-30(特)	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成23年3月	682,395
14	1-13	冷蔵(凍)庫	パススルー冷蔵庫 福島工業 PRD-40RM1-G	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	678,300
15	6-9	その他の木工用 機器	集塵機 ムラコシ HM3000	週3日(年間109日) 作業学習に使用	平成21年3月	672,000
16	7-1	除草用機器	芝刈機 バロネス GM64A-M	月1回(年間12日) 除草に使用	平成21年3月	619,500
17	1-13	調理器具	マイコン式立体炊飯器 アイホー RMG-153R	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	558,600
18	1-13	調理器具	マイコン式立体炊飯器 アイホー RMG-153R	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	558,600
19	1-13	冷蔵(凍)庫	冷凍冷蔵庫 福島工業 URN-52PM1	毎日(年間193日) 給食調理に使用	平成21年3月	541,800
20	2-1	その他の情報処 理機器	校内LANサーバ等一式	毎日(年間365日) データ管理に使用	平成29年3月	529,308

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		マグカップ 陶器 (個)				大皿 陶器 (枚)				小鉢 陶器 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		24	10	0	△14	1	0	0	△1	24	10	0	△14	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	24	10	0	△14	1	0	0	△1	24	10	0	△14	
	計	24	10	0	△14	1	0	0	△1	24	10	0	△14	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△58.3	/	/	/	△100.0	/	/	/	△58.3	
払 高	売払数量	24	10	0	△14	1	0	0	△1	24	10	0	△14	
	売払金額	7,200	3,000	0	△4,200	400	0	0	△400	7,200	3,000	0	△4,200	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	24	10	0	△14	1	0	0	△1	24	10	0	△14		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		どんぶり 陶器 (個)				コースター 木製 (個)				小物入れ 木製寄木風 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		5	0	0	△5	30	0	0	△30	30	0	0	△30	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	5	0	0	△5	30	0	0	△30	30	0	0	△30	
	計	5	0	0	△5	30	0	0	△30	30	0	0	△30	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	5	0	0	△5	30	0	0	△30	30	0	0	△30	
	売払金額	2,000	0	0	△2,000	6,000	0	0	△6,000	9,000	0	0	△9,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	0	0	△5	30	0	0	△30	30	0	0	△30		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		巾着袋 大 布製 (枚)				ランチバッグ 布製 (個)				カードケース 革製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		28	28	0	0	22	0	0	△ 22	5	0	0	△ 5	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	28	28	0	0	22	0	0	△ 22	5	0	0	△ 5	
	計	28	28	0	0	22	0	0	△ 22	5	0	0	△ 5	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	0.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	売払数量	28	28	0	0	22	0	0	△ 22	5	0	0	△ 5	
	売払金額	8,400	10,400	0	2,000	11,000	0	0	△ 11,000	2,000	0	0	△ 2,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	28	28	0	0	22	0	0	△ 22	5	0	0	△ 5		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		バスケース 革製 (個)				八角皿 陶器 (枚)				カレー皿 陶器 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		5	0	0	△ 5	5	0	0	△ 5	6	0	0	△ 6	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	5	0	0	△ 5	5	0	0	△ 5	6	0	0	△ 6	
	計	5	0	0	△ 5	5	0	0	△ 5	6	0	0	△ 6	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	売払数量	5	0	0	△ 5	5	0	0	△ 5	6	0	0	△ 6	
	売払金額	2,000	0	0	△ 2,000	1,000	0	0	△ 1,000	1,800	0	0	△ 1,800	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	0	0	△ 5	5	0	0	△ 5	6	0	0	△ 6		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		丸皿 陶器 (枚)				角皿 陶器 (枚)				薬味皿 陶器 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		23	0	0	△23	8	0	0	△8	22	0	0	△22	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	23	0	0	△23	8	0	0	△8	22	0	0	△22	
	計	23	0	0	△23	8	0	0	△8	22	0	0	△22	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	23	0	0	△23	8	0	0	△8	22	0	0	△22	
	売払金額	2,300	0	0	△2,300	800	0	0	△800	4,400	0	0	△4,400	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	23	0	0	△23	8	0	0	△8	22	0	0	△22		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		長皿 陶器 (枚)				三日月皿 陶器 (枚)				ボタンキーケース 革製 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		6	0	0	△6	5	0	0	△5	15	0	0	△15	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	6	0	0	△6	5	0	0	△5	15	0	0	△15	
	計	6	0	0	△6	5	0	0	△5	15	0	0	△15	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	6	0	0	△6	5	0	0	△5	15	0	0	△15	
	売払金額	1,800	0	0	△1,800	1,000	0	0	△1,000	6,000	0	0	△6,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	0	0	△6	5	0	0	△5	15	0	0	△15		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														



# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		ファスナーキーケース 革製 (個)				レモンポーチ 革製 (枚)				コードクリップ ハート型 革製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		32	0	0	△ 32	5	0	0	△ 5	28	0	0	△ 28	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	32	0	0	△ 32	5	0	0	△ 5	28	0	0	△ 28	
	計	32	0	0	△ 32	5	0	0	△ 5	28	0	0	△ 28	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	売払数量	32	0	0	△ 32	5	0	0	△ 5	28	0	0	△ 28	
	売払金額	19,200	0	0	△ 19,200	2,500	0	0	△ 2,500	3,500	0	0	△ 3,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		32	0	0	△ 32	5	0	0	△ 5	28	0	0	△ 28	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		ボックスティッシュケース 布製 (個)				富士山スタンド 陶器 (個)				マグネット 5個 陶器 (セット)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		30	0	0	△ 30	7	0	0	△ 7	35	0	0	△ 35	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	30	0	0	△ 30	7	0	0	△ 7	35	0	0	△ 35	
	計	30	0	0	△ 30	7	0	0	△ 7	35	0	0	△ 35	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	売払数量	30	0	0	△ 30	7	0	0	△ 7	35	0	0	△ 35	
	売払金額	9,000	0	0	△ 9,000	350	0	0	△ 350	3,500	0	0	△ 3,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		30	0	0	△ 30	7	0	0	△ 7	35	0	0	△ 35	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		クリスマスストラップ・ビーズ (個)				コースター 小 木製タイル細工 (個)				ストラップ 革製・ビーズ (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		40	0	0	△40	29	0	0	△29	120	0	0	△120	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	40	0	0	△40	29	0	0	△29	120	0	0	△120	
	計	40	0	0	△40	29	0	0	△29	120	0	0	△120	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	40	0	0	△40	29	0	0	△29	120	0	0	△120	
	売払金額	10,000	0	0	△10,000	5,800	0	0	△5,800	12,000	0	0	△12,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	40	0	0	△40	29	0	0	△29	120	0	0	△120		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		いちょう皿 陶器 (枚)				抹茶茶碗 陶器 (個)				箸置き 陶器 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		23	0	0	△23	26	6	0	△20	96	0	0	△96	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	23	0	0	△23	26	6	0	△20	96	0	0	△96	
	計	23	0	0	△23	26	6	0	△20	96	0	0	△96	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△76.9	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	23	0	0	△23	26	6	0	△20	96	0	0	△96	
	売払金額	2,300	0	0	△2,300	7,800	1,800	0	△6,000	2,400	0	0	△2,400	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	23	0	0	△23	26	6	0	△20	96	0	0	△96		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		模様皿(中) 陶器 (枚)				模様皿(小) 陶器 (枚)				グラタン皿 陶器 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		51	0	0	△ 51	48	0	0	△ 48	34	0	0	△ 34	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	51	0	0	△ 51	48	0	0	△ 48	34	0	0	△ 34	
	計	51	0	0	△ 51	48	0	0	△ 48	34	0	0	△ 34	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	売払数量	51	0	0	△ 51	48	0	0	△ 48	34	0	0	△ 34	
	売払金額	10,200	0	0	△ 10,200	4,800	0	0	△ 4,800	6,800	0	0	△ 6,800	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		51	0	0	△ 51	48	0	0	△ 48	34	0	0	△ 34	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		ウッドコースター 木製 (個)				タイルコースター 中 木製 (個)				タイルコースター 大 木製 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		39	25	0	△ 14	12	0	0	△ 12	23	0	0	△ 23	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	39	25	0	△ 14	12	0	0	△ 12	23	0	0	△ 23	
	計	39	25	0	△ 14	12	0	0	△ 12	23	0	0	△ 23	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 35.9	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	売払数量	39	25	0	△ 14	12	0	0	△ 12	23	0	0	△ 23	
	売払金額	7,800	5,000	0	△ 2,800	3,600	0	0	△ 3,600	9,200	0	0	△ 9,200	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		39	25	0	△ 14	12	0	0	△ 12	23	0	0	△ 23	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		巾着袋(中) 布製 (個)				ふたつきペンケース 革製 (個)				バックチャーム 革製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		34	0	0	△34	19	10	0	△9	30	0	0	△30	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	34	0	0	△34	19	10	0	△9	30	0	0	△30	
	計	34	0	0	△34	19	10	0	△9	30	0	0	△30	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△47.4	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	34	0	0	△34	19	10	0	△9	30	0	0	△30	
	売払金額	6,800	0	0	△6,800	11,400	6,000	0	△5,400	6,000	0	0	△6,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	34	0	0	△34	19	10	0	△9	30	0	0	△30		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		サシェ 不織布 (個)				ハーブバス(3個入)不織布 (セット)				ブレンダー 陶器 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		540	0	0	△540	100	0	0	△100	7	0	0	△7	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	540	0	0	△540	100	0	0	△100	7	0	0	△7	
	計	540	0	0	△540	100	0	0	△100	7	0	0	△7	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	540	0	0	△540	100	0	0	△100	7	0	0	△7	
	売払金額	27,000	0	0	△27,000	10,000	0	0	△10,000	1,400	0	0	△1,400	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	540	0	0	△540	100	0	0	△100	7	0	0	△7		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		ビアマグ 陶器 (個)				ご飯茶碗 陶器 (個)				湯のみ 陶器 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		6	0	0	△6	9	0	0	△9	13	0	0	△13	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	6	0	0	△6	9	0	0	△9	13	0	0	△13	
	計	6	0	0	△6	9	0	0	△9	13	0	0	△13	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	6	0	0	△6	9	0	0	△9	13	0	0	△13	
	売払金額	1,800	0	0	△1,800	1,800	0	0	△1,800	1,300	0	0	△1,300	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		6	0	0	△6	9	0	0	△9	13	0	0	△13	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		マグネット(3個セット)陶器 (セット)				タイル付きコースター 木製 (個)				ウッドコンテナ 木製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		15	10	0	△5	10	15	0	5	15	0	0	△15	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	15	10	0	△5	10	15	0	5	15	0	0	△15	
	計	15	10	0	△5	10	15	0	5	15	0	0	△15	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△33.3	/	/	/	50.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	15	10	0	△5	10	15	0	5	15	0	0	△15	
	売払金額	1,500	1,000	0	△500	3,000	3,000	0	0	7,500	0	0	△7,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		15	10	0	△5	10	15	0	5	15	0	0	△15	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		カードケース 木製 (個)				スライドラック 木製 (個)				マグネットバー 木製 (本)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		20	2	0	△18	2	0	0	△2	64	0	0	△64
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	20	2	0	△18	2	0	0	△2	64	0	0	△64
	計	20	2	0	△18	2	0	0	△2	64	0	0	△64
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△90.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0
払 高	売払数量	20	2	0	△18	2	0	0	△2	64	0	0	△64
	売払金額	10,000	1,400	0	△8,600	1,000	0	0	△1,000	3,200	0	0	△3,200
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	2	0	△18	2	0	0	△2	64	0	0	△64	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		トートバッグ 布製 (個)				ポーチ(マチあり) 布製 (個)				ポーチ(マチなし) 布製 (個)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		30	0	0	△30	10	17	0	7	27	0	0	△27
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	30	0	0	△30	10	17	0	7	27	0	0	△27
	計	30	0	0	△30	10	17	0	7	27	0	0	△27
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	70.0	/	/	/	△100.0
払 高	売払数量	30	0	0	△30	10	17	0	7	27	0	0	△27
	売払金額	21,000	0	0	△21,000	3,000	5,100	0	2,100	8,100	0	0	△8,100
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	0	0	△30	10	17	0	7	27	0	0	△27	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		ペンケース 布製 (個)				印鑑ケース 革製 (個)				キーホルダー 革製 (個)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		20	0	0	△ 20	10	0	0	△ 10	40	0	0	△ 40
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	20	0	0	△ 20	10	0	0	△ 10	40	0	0	△ 40
	計	20	0	0	△ 20	10	0	0	△ 10	40	0	0	△ 40
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0
払 高	売払数量	20	0	0	△ 20	10	0	0	△ 10	40	0	0	△ 40
	売払金額	4,000	0	0	△ 4,000	5,000	0	0	△ 5,000	12,000	0	0	△ 12,000
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	0	0	△ 20	10	0	0	△ 10	40	0	0	△ 40	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		1wayキーケース 革製 (個)				携帯ケース 小 革製 (個)				丸型小皿 陶器 (枚)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		3	0	0	△ 3	3	0	0	△ 3	24	0	0	△ 24
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	3	0	0	△ 3	3	0	0	△ 3	24	0	0	△ 24
	計	3	0	0	△ 3	3	0	0	△ 3	24	0	0	△ 24
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0
払 高	売払数量	3	0	0	△ 3	3	0	0	△ 3	24	0	0	△ 24
	売払金額	1,800	0	0	△ 1,800	1,800	0	0	△ 1,800	1,200	0	0	△ 1,200
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	0	0	△ 3	3	0	0	△ 3	24	0	0	△ 24	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		角型小皿 陶器 (枚)				丸中皿 陶器 (枚)				楕円中皿 陶器 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		32	0	0	△32	27	0	0	△27	12	0	0	△12	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	32	0	0	△32	27	0	0	△27	12	0	0	△12	
	計	32	0	0	△32	27	0	0	△27	12	0	0	△12	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	32	0	0	△32	27	0	0	△27	12	0	0	△12	
	売払金額	1,600	0	0	△1,600	2,700	0	0	△2,700	1,200	0	0	△1,200	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		32	0	0	△32	27	0	0	△27	12	0	0	△12	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		サッカー皿 陶器 (枚)				どら皿 陶器 (枚)				ペン立て 陶器 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		4	0	0	△4	4	0	0	△4	10	5	0	△5	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	4	0	0	△4	4	0	0	△4	10	5	0	△5	
	計	4	0	0	△4	4	0	0	△4	10	5	0	△5	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△50.0	
払 高	売払数量	4	0	0	△4	4	0	0	△4	10	5	0	△5	
	売払金額	400	0	0	△400	400	0	0	△400	1,000	500	0	△500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		4	0	0	△4	4	0	0	△4	10	5	0	△5	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														



# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		マウスパッド 木製 (個)				なべしき 木製 (個)				トートバッグ 布製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		30	30	0	0	30	60	0	30	35	0	0	△ 35	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	30	30	0	0	30	60	0	30	35	0	0	△ 35	
	計	30	30	0	0	30	60	0	30	35	0	0	△ 35	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	0.0	/	/	/	100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	前年度繰越高	30	30	0	0	30	60	0	30	35	0	0	△ 35	
	本年度生産高(イ)	6,000	9,000	0	3,000	9,000	12,000	0	3,000	14,000	0	0	△ 14,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	30	0	0	30	60	0	30	35	0	0	△ 35		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		巾着袋 布製 (個)				ミニビーズストラップ(サンタ) ビーズ細工 (個)				ミニビーズストラップ(雪だるま) ビーズ細工 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		45	0	0	△ 45	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	45	0	0	△ 45	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	
	計	45	0	0	△ 45	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	
払 高	売払数量	45	0	0	△ 45	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	
	売払金額	18,000	0	0	△ 18,000	3,000	0	0	△ 3,000	3,000	0	0	△ 3,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	45	0	0	△ 45	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		ミニビーズストラップ(帽子) ビーズ細工 (個)				ハーバリウム 造花 (個)				バスボム 重曹、ベビーオイル他 (個)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	150	0	0	△ 150
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	150	0	0	△ 150
	計	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	150	0	0	△ 150
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0
払 高	売払数量	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	150	0	0	△ 150
	売払金額	3,000	0	0	△ 3,000	6,000	0	0	△ 6,000	3,000	0	0	△ 3,000
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	0	0	△ 30	30	0	0	△ 30	150	0	0	△ 150	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		タッセルストラップ タッセル (個)				小物入れ(ホック式) 毛糸 (個)				ペンケース(縦長ホック式) 毛糸 (個)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		20	0	0	△ 20	20	0	0	△ 20	15	0	0	△ 15
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	20	0	0	△ 20	20	0	0	△ 20	15	0	0	△ 15
	計	20	0	0	△ 20	20	0	0	△ 20	15	0	0	△ 15
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0
払 高	売払数量	20	0	0	△ 20	20	0	0	△ 20	15	0	0	△ 15
	売払金額	1,000	0	0	△ 1,000	2,000	0	0	△ 2,000	3,000	0	0	△ 3,000
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	0	0	△ 20	20	0	0	△ 20	15	0	0	△ 15	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		ポチ袋 大 (個)				ポチ袋 小 (個)				メッセージカード 大 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		30	0	0	△30	30	0	0	△30	60	0	0	△60	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	30	0	0	△30	30	0	0	△30	60	0	0	△60	
	計	30	0	0	△30	30	0	0	△30	60	0	0	△60	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	30	0	0	△30	30	0	0	△30	60	0	0	△60	
	売払金額	1,200	0	0	△1,200	900	0	0	△900	600	0	0	△600	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	0	0	△30	30	0	0	△30	60	0	0	△60		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		メッセージカード 小 (枚)				プランター 陶器 (個)				扇皿 陶器 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		30	0	0	△30	3	0	0	△3	2	0	0	△2	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	30	0	0	△30	3	0	0	△3	2	0	0	△2	
	計	30	0	0	△30	3	0	0	△3	2	0	0	△2	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	
払 高	売払数量	30	0	0	△30	3	0	0	△3	2	0	0	△2	
	売払金額	300	0	0	△300	1,200	0	0	△1,200	400	0	0	△400	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	0	0	△30	3	0	0	△3	2	0	0	△2		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		タイトルレー S 木製 (個)				タイトルレー L 木製 (個)				写真立て 木製 (個)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		5	2	0	△3	5	0	0	△5	5	25	0	20
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	5	2	0	△3	5	0	0	△5	5	25	0	20
	計	5	2	0	△3	5	0	0	△5	5	25	0	20
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△60.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	400.0
払 高	売払数量	5	2	0	△3	5	0	0	△5	5	25	0	20
	売払金額	2,000	800	0	△1,200	2,000	0	0	△2,000	1,500	5,000	0	3,500
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	2	0	△3	5	0	0	△5	5	25	0	20	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		ペットボトルケース 布製 (個)				コードクリップ 丸型 革製 (枚)				カードケース ホック付き 革製 (枚)			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		15	0	0	△15	20	0	0	△20	15	0	0	△15
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	15	0	0	△15	20	0	0	△20	15	0	0	△15
	計	15	0	0	△15	20	0	0	△20	15	0	0	△15
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0	/	/	/	△100.0
払 高	売払数量	15	0	0	△15	20	0	0	△20	15	0	0	△15
	売払金額	3,000	0	0	△3,000	3,000	0	0	△3,000	7,500	0	0	△7,500
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	15	0	0	△15	20	0	0	△20	15	0	0	△15	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		印鑑パット 革製 (枚)				小皿 陶器 (枚)				デザイン皿(小) 陶器 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		5	0	0	△5	0	77	0	77	0	21	0	21	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	5	0	0	△5	0	77	0	77	0	21	0	21	
	計	5	0	0	△5	0	77	0	77	0	21	0	21	
単位数(イ/ア)		1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	5	0	0	△5	0	77	0	77	0	21	0	21	
	売払金額	750	0	0	△750	0	7,700	0	7,700	0	2,100	0	2,100	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	0	0	△5	0	77	0	77	0	21	0	21		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		デザイン皿(中) 陶器 (枚)				箸置き(2個入) 木製 (個)				ペン立て 木製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	24	0	24	0	30	0	30	0	30	0	30	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	24	0	24	0	30	0	30	0	30	0	30	
	計	0	24	0	24	0	30	0	30	0	30	0	30	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	24	0	24	0	30	0	30	0	30	0	30	
	売払金額	0	4,800	0	4,800	0	3,000	0	3,000	0	6,000	0	6,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	24	0	24	0	30	0	30	0	30	0	30		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		エコバック 小 布製 (個)				エコバック 大 布製 (個)				巾着袋 小 布製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	20	0	20	0	35	0	35	0	55	0	55	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	20	0	20	0	35	0	35	0	55	0	55	
	計	0	20	0	20	0	35	0	35	0	55	0	55	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	20	0	20	0	35	0	35	0	55	0	55	
	売払金額	0	5,000	0	5,000	0	17,500	0	17,500	0	16,500	0	16,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	20	0	20	0	35	0	35	0	55	0	55		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		アロマストーン 陶器 (個)				エコバッグ 布製 (個)				マスクフック 革製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	25	0	25	0	4	0	4	0	15	0	15	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	25	0	25	0	4	0	4	0	15	0	15	
	計	0	25	0	25	0	4	0	4	0	15	0	15	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	25	0	25	0	4	0	4	0	15	0	15	
	売払金額	0	2,500	0	2,500	0	2,800	0	2,800	0	4,500	0	4,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	25	0	25	0	4	0	4	0	15	0	15		
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		エコモップ 毛糸 (個)				マスクケース 革製 (個)				アクリルたわし 毛糸 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	12	0	12	0	10	0	10	0	55	0	55	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	12	0	12	0	10	0	10	0	55	0	55	
	計	0	12	0	12	0	10	0	10	0	55	0	55	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	12	0	12	0	10	0	10	0	55	0	55	
	売払金額	0	3,600	0	3,600	0	6,000	0	6,000	0	8,250	0	8,250	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	12	0	12	0	10	0	10	0	55	0	55	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		卓上カレンダー 紙製 (個)				マスクチャーム 革製 (個)				メモ帳 紙製 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	10	0	10	0	30	0	30	0	20	0	20	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	10	0	10	0	30	0	30	0	20	0	20	
	計	0	10	0	10	0	30	0	30	0	20	0	20	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	10	0	10	0	30	0	30	0	20	0	20	
	売払金額	0	2,000	0	2,000	0	3,000	0	3,000	0	2,000	0	2,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	10	0	10	0	30	0	30	0	20	0	20	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		サシェ(2個入) 不織布、ホフリ (個)				しおり 紙製 (個)				ハーブバス(2個入) 不織布、ホフリ、塩 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	23	0	23	0	15	0	15	0	10	0	10	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	23	0	23	0	15	0	15	0	10	0	10	
	計	0	23	0	23	0	15	0	15	0	10	0	10	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	23	0	23	0	15	0	15	0	10	0	10	
	売払金額	0	2,300	0	2,300	0	300	0	300	0	1,000	0	1,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	23	0	23	0	15	0	15	0	10	0	10	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		ミニモップ 毛糸、割りばし (個)				苗(2個入) 苗、土 (個)				トーストスチーマー 陶器 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	50	0	50	0	5	0	5	0	10	0	10	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	50	0	50	0	5	0	5	0	10	0	10	
	計	0	50	0	50	0	5	0	5	0	10	0	10	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	50	0	50	0	5	0	5	0	10	0	10	
	売払金額	0	10,000	0	10,000	0	500	0	500	0	1,000	0	1,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	50	0	50	0	5	0	5	0	10	0	10	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														



# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		コースター(2枚入り) 毛糸 (個)				ペン立て 紙製 (個)				小物入れ 紙製 (枚)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	20	0	20	0	25	0	25	0	20	0	20	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	20	0	20	0	25	0	25	0	20	0	20	
	計	0	20	0	20	0	25	0	25	0	20	0	20	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	20	0	20	0	25	0	25	0	20	0	20	
	売払金額	0	2,000	0	2,000	0	5,000	0	5,000	0	6,000	0	6,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	20	0	20	0	25	0	25	0	20	0	20	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名 (単位)		花入れ 陶器 (個)				フォトフレーム 紙製 (個)				ペーパーウェイト 陶器 (個)				
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)				
長さ、高さ(ア)		0	10	0	10	0	20	0	20	0	35	0	35	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	10	0	10	0	20	0	20	0	35	0	35	
	計	0	10	0	10	0	20	0	20	0	35	0	35	
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	/	/	/	100.0	
払 高	売払数量	0	10	0	10	0	20	0	20	0	35	0	35	
	売払金額	0	3,000	0	3,000	0	4,000	0	4,000	0	3,500	0	3,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	10	0	10	0	20	0	20	0	35	0	35	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

区分	品名 (単位)	名札ケース 木製 (個)				計								
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a					
面積、数量		数量(個)				数量(個)								
長さ、高さ(ア)		0	2	0	2	2,772	973	0	△ 1,799					
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0					
	本年度生産高(イ)	0	2	0	2	2,772	973	0	△ 1,799					
	計	0	2	0	2	2,772	973	0	△ 1,799					
単位数(イ/ア)		0.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00					
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	100.0	/	/	/	△ 64.9	/	/	/		
払 高	売払数量	0	2	0	2	2,772	973	0	△ 1,799					
	売払金額	0	1,000	0	1,000	449,300	203,850	0	△ 245,450					
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0				
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0				
計		0	2	0	2	2,772	973	0	△ 1,799					
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0					
摘要														

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
	計	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△64.9	/	/	/	△64.9	/	/	/	△64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△245,450	449,300	203,850	0	△245,450	449,300	203,850	0	△245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
	計	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△64.9	/	/	/	△64.9	/	/	/	△64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△245,450	449,300	203,850	0	△245,450	449,300	203,850	0	△245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799	2,772	973	0	△1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

区分		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

区分		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名 (単位)		計 ( )				計 ( )				計 ( )			
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a	元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a
面積、数量		数量(個)				数量(個)				数量(個)			
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	計	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9	/	/	/	△ 64.9
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450	449,300	203,850	0	△ 245,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799	2,772	973	0	△ 1,799
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

# 生産物受払調

(令和3年9月30日現在)

区分	品名 (単位)	計												
		元年度 a	2年度 b	3年9月 30日現 在	差 b-a									
面積、数量		数量(個)												
長さ、高さ(ア)		2,772	973	0	△ 1,799									
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0									
	本年度生産高(イ)	2,772	973	0	△ 1,799									
	計	2,772	973	0	△ 1,799									
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	1.00									
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 64.9	/	/	/	/	/	/	/	/	
払 高	売払数量	2,772	973	0	△ 1,799									
	売払金額	449,300	203,850	0	△ 245,450									
	非売品 数量	分類換	0		0	0								
		管理換その他	0		0	0								
計		2,772	973	0	△ 1,799									
残高又は繰越数量		0	0	0	0									
摘要														



# 職 員 調

(令和3年9月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	前田 貴子	総 括	□□□□	□年□月	□□□□□
2	副 校 長	磯部 正之	総 括	□□□□	□年□月	□□□□□
3	教 頭	湯本 健治	総 括	□□□□	□年□月	□□□□□
4	事 務 長	村松 傑	事務総括	□□□□	□年□月	□□□□□
5	教 諭	笠原 和美	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
6	〃	勝部 悦弘	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
7	〃	井島 裕之	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
8	〃	木本 恭嗣	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
9	〃	小坂 美紀	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
10	〃	村松 晴巳	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
11	〃	佐藤 佳奈	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
12	〃	榑原 あゆみ	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
13	〃	花井 千賀子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
14	〃	松河 弘子	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
15	〃	細田 まゆみ	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
16	〃	落合 江美	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
17	〃	川村 清子	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
18	〃	立部 啓子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
19	〃	神家 志保	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
20	〃	藤田 京子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
21	〃	神田 朋成	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
22	〃	中山 靖治	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
23	〃	米山 さおり	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
24	〃	小川 美香	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
25	〃	大ノ木 一雅	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
26	〃	高橋 典子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
27	〃	佐々木 洋介	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
28	〃	滝川 友梨子	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
29	〃	古川 純	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
30	〃	田原 有佳里	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
31	〃	永井 みどり	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
32	〃	河西 祐治	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
33	〃	犬塚 広樹	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
34	〃	大高 千穂	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
35	〃	森高 陽子	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
36	〃	渥美 麻衣	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
37	〃	西口 園子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
38	〃	新村 絵梨子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
39	〃	牧内 朋子	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
40	教諭	山内 悠里	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
41	〃	池田 伸太郎	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
42	〃	堀内 雅子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
43	〃	村松 祐典	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
44	〃	塩崎 めぐみ	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
45	〃	河原崎 純	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
46	〃	城 歩	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
47	〃	袴田 裕之	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
48	〃	鈴木 隼人	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
49	〃	正木 真里	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
50	〃	松下 侑樹	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
51	〃	中川 悠真子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
52	〃	塚本 勇氣	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
53	〃	鈴木 えり	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
54	〃	高山 直子	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
55	〃	鈴木 綾子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
56	〃	陶山 恵	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
57	〃	石川 大人	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
58	〃	川井 寿実子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
59	〃	加藤 亜美	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
60	〃	栗田 翔子	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
61	〃	大類 健介	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
62	〃	石田 航介	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
63	〃	立石 宣暁	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
64	〃	袴田 慶子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
65	〃	桑原 春菜	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
66	〃	相曾 愛美	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
67	〃	内海 充	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
68	〃	牧野 琴美	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
69	〃	市瀬 郁恵	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
70	〃	青木 邦成	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
71	〃	加藤 充	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
72	〃	昼間 真知子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
73	〃	末永 智沙	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
74	〃	藤田 尚弥	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
75	〃	石津 克史	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
76	〃	鈴木 達也	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
77	〃	高橋 正記	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
78	〃	東 静香	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
79	〃	河村 史圭	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
80	〃	落合 暁子	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
81	〃	鈴鹿 大樹	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
82	教諭	前田 綾音	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
83	〃	延本 佑味	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
84	〃	伊藤 奏子	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
85	〃	水谷 彩香	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
86	〃	吉田 紫歩	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
87	〃	藤本 真介	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
88	〃	太田 敦子	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
89	〃	廣澤 舞	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
90	〃	岡本 まゆ	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
91	〃	江間 夏実	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
92	〃	森 文音	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
93	〃	村松 武	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
94	〃	伊藤 豪	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
95	〃	富田 灯理	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
96	〃	伊藤 亜美	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
97	〃	内山 涼香	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
98	〃	齋藤 令名	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
99	〃	内山 亜佑美	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
100	〃	片山 侑奈	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
101	〃	山口 早紀	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
102	〃	野中 千裕	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
103	〃	櫻井 健太	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
104	〃	山村 光	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
105	〃	根方 純奈	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
106	〃	西村 皐	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
107	〃	廣瀬 周平	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
108	〃	鈴木 冴香	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
109	〃	袴田 詩織	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
110	〃	坂本 郁佳	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
111	〃	後藤 ゆり	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
112	〃	齊藤 ゆり	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
113	〃	三瓶 侑哉	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
114	〃	高野 唯	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
115	〃	大石 正美	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
116	〃	福井 菜摘	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
117	〃	新聞 啓聖	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
118	〃	天城 帆乃香	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
119	〃	清水 理央	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
120	〃	塚本 結	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
121	〃	片岡 美紗	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
122	〃	江間 由有希	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
123	教諭	寺田 彩乃	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
124	〃	杉山 みずほ	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
125	〃	三尾 咲月季	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
126	養護教諭	関 裕子	養 護	□□□□	□年□月	□□□□□
127	〃	鈴木 麻衣	養 護	□□□□	□年□月	□□□□□
128	栄養教諭	杉本 香織	給 食	□□□□	□年□月	□□□□□
129	主 査	林 真由美	会 計	□□□□	□年□月	□□□□□
130	〃	藤山 佳子	管 財	□□□□	□年□月	□□□□□
131	主 任	落合 健人	庶 務	□□□□	□年□月	□□□□□
132	主任技能員	前田 さかき	用 務	□□□□	□年□月	□□□□□
平均年数					□年□月	

# 臨時職員・非常勤職員

(令和3年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	小林 貞美	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
2	〃	滝口 詠子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
3	〃	大石 快子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
4	〃	熊本 真澄	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
5	〃	古田 八重子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
6	〃	池谷 啓子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
7	〃	尾上 理子	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
8	〃	堀内 彰人	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
9	〃	高橋 香都子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
10	〃	神野 一樹	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
11	〃	白井 雄大	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
12	〃	守田 亮介	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
13	教諭(臨)	江間 あゆ美	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
14	〃	藤田 綾子	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
15	〃	下元 麻佑	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
16	〃	大城 直子	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
17	〃	原田 富弘	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
18	〃	藤森 千鶴子	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
19	〃	徳田 尚美	小学部	□□□□	□年□月	□□□□□
20	〃	島田 幸輝	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
21	〃	清水 誠志	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
22	〃	大場 竜征	中学部	□□□□	□年□月	□□□□□
23	〃	新村 奈津	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
24	〃	山本 麻李江	高等部	□□□□	□年□月	□□□□□
25	養護教諭(臨)	山口 真輝	養護	□□□□	□年□月	□□□□□
26	非常勤講師(看護)	岡本 美佳子	看護	□□□□	□年□月	□□□□□
27	〃	大塚 歩美	看護	□□□□	□年□月	□□□□□
28	〃	森島 久恵	看護	□□□□	□年□月	□□□□□
29	〃	知久 有利	看護	□□□□	□年□月	□□□□□
30	〃	伊藤 奈穂子	看護	□□□□	□年□月	□□□□□
31	非常勤嘱託員	梅林 由加里	事務補助	□□□□	□年□月	□□□□□
32	非常勤労務職員	松井 啓子	介助	□□□□	□年□月	□□□□□
33	〃	黒滝 善子	介助	□□□□	□年□月	□□□□□
34	〃	鈴木 すみ江	スクールバス添乗	□□□□	□年□月	□□□□□
35	〃	市川 美加江	スクールバス添乗	□□□□	□年□月	□□□□□
36	〃	杉保 園恵	スクールバス添乗	□□□□	□年□月	□□□□□

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
37	非常勤務職員	鈴木 正明	スクールバス添乗	□□□□	□年□月	□□□□□
38	〃	河合 祐二	スクールバス添乗	□□□□	□年□月	□□□□□
39	〃	大城 講治	スクールバス添乗	□□□□	□年□月	□□□□□
40	〃	室内 幸江	新型コロナ対策	□□□□	□年□月	□□□□□
41	〃	望月 優子	新型コロナ対策	□□□□	□年□月	□□□□□
42	〃	牧井 真樹	新型コロナ対策	□□□□	□年□月	□□□□□
43	就労促進専門員	松井 茉未	就労促進	□□□□	□年□月	□□□□□
44	学校医	廣 建志	内科	□□□□	□年□月	□□□□□
45	〃	石井 るみ子	眼科	□□□□	□年□月	□□□□□
46	〃	大和谷 崇	耳鼻科	□□□□	□年□月	□□□□□
47	〃	間渕 公一郎	整形外科	□□□□	□年□月	□□□□□
48	学校歯科医	石川 恵一	歯科	□□□□	□年□月	□□□□□
49	学校薬剤師	伊藤 隆康	薬剤師	□□□□	□年□月	□□□□□
50	健康管理医	大城 一	産業医	□□□□	□年□月	□□□□□

# 職員の年齢調

(令和3年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	34	
30歳以上40歳未満	48	
40歳以上50歳未満	26	
50歳以上56歳未満	13	
56歳以上61歳未満	10	
61歳以上	1	再任用1人
計	132	平均年齢 38.3 歳

## 健康管理

### 1 令和2年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 197人 職員数 197人
受 診 率	100%
県平均受診率	99.9%

(1) 未受診の理由

### 2 令和3年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っても症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	31人(5)
D 2		要経過観察	35人(2)
D 3		医 療 不 要	61人(8)
区 分 者 計			127人
未区分者数			5人
合 計			132人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア  □人  
 イ  □人  
 ウ  □人  
 エ  □人  
 (  ) □人